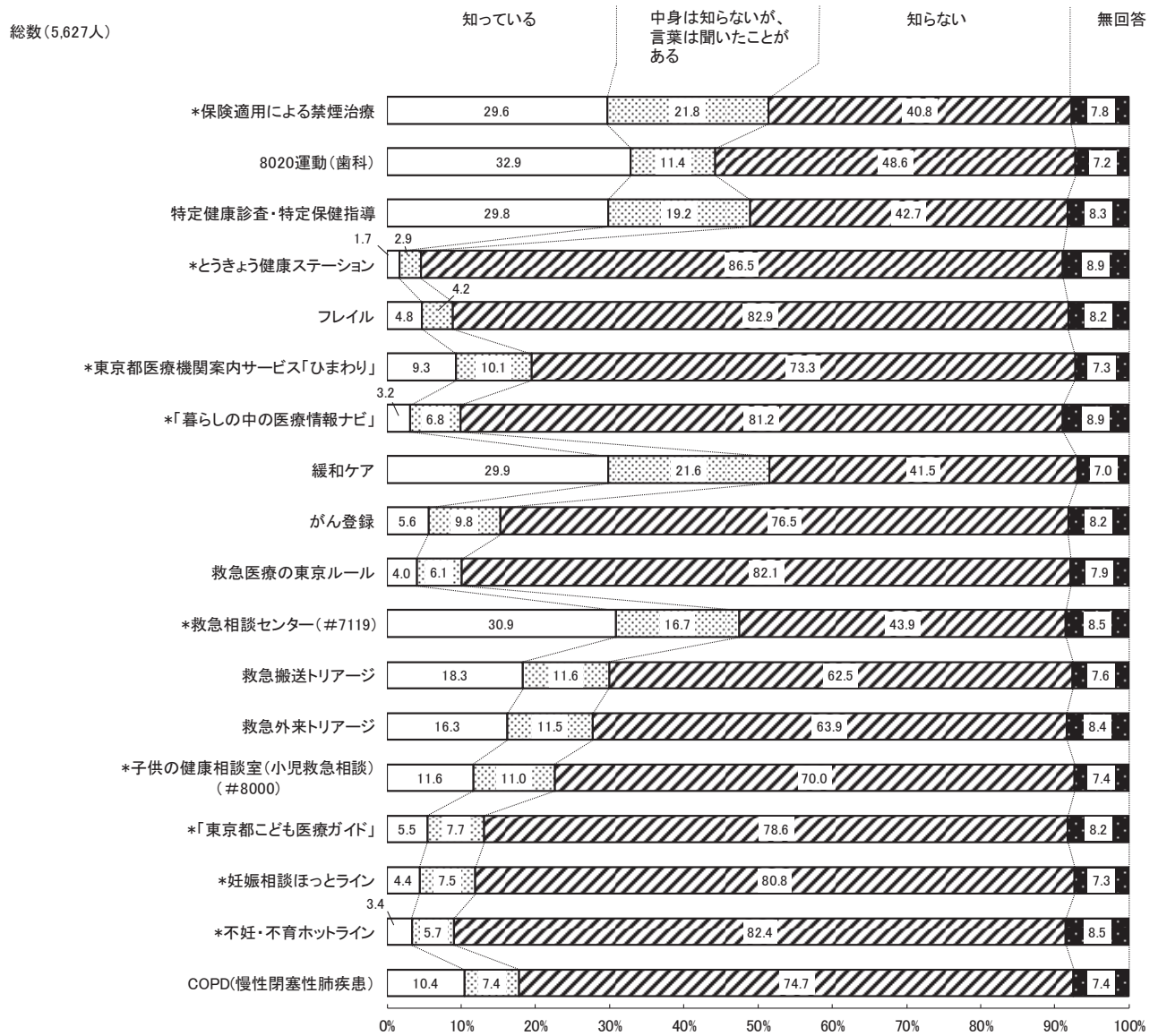


# 第11章 保健医療関連施策等の認知度

## 1 保健医療関連施策等の認知度

この調査に回答する以前に、以下の項目を知っていたかどうか聞いたところ、「知っている」割合は、「8020運動（歯科）」が32.9%、「救急相談センター（#7119）」が30.9%、「緩和ケア」が29.9%、「特定健康診査・特定保健指導」が29.8%「保険適用による禁煙治療」が29.6%となっている。（図Ⅱ-11-1）

図Ⅱ-11-1 保健医療関連施策等の認知度



（注）\*を付した施策について、利用経験の有無を聞いたところ、「利用経験あり」の割合は以下のとおりとなっている。

- 〔保険適用による禁煙治療〕：全体の1.6%
- 〔とうきょう健康ステーション〕：全体の0.1%
- 〔東京都医療機関案内サービス「ひまわり」〕：全体の4.0%
- 〔暮らしの中の医療情報ナビ〕：全体の0.4%
- 〔救急相談センター（#7119）〕：全体の8.9%
- 〔子供の健康相談室（小児救急相談）（#8000）〕：全体の3.2%
- 〔東京都子ども医療ガイド〕：全体の0.8%
- 〔妊娠相談ほっとライン〕：全体の0.1%
- 〔不妊・不育ホットライン〕：0.1%

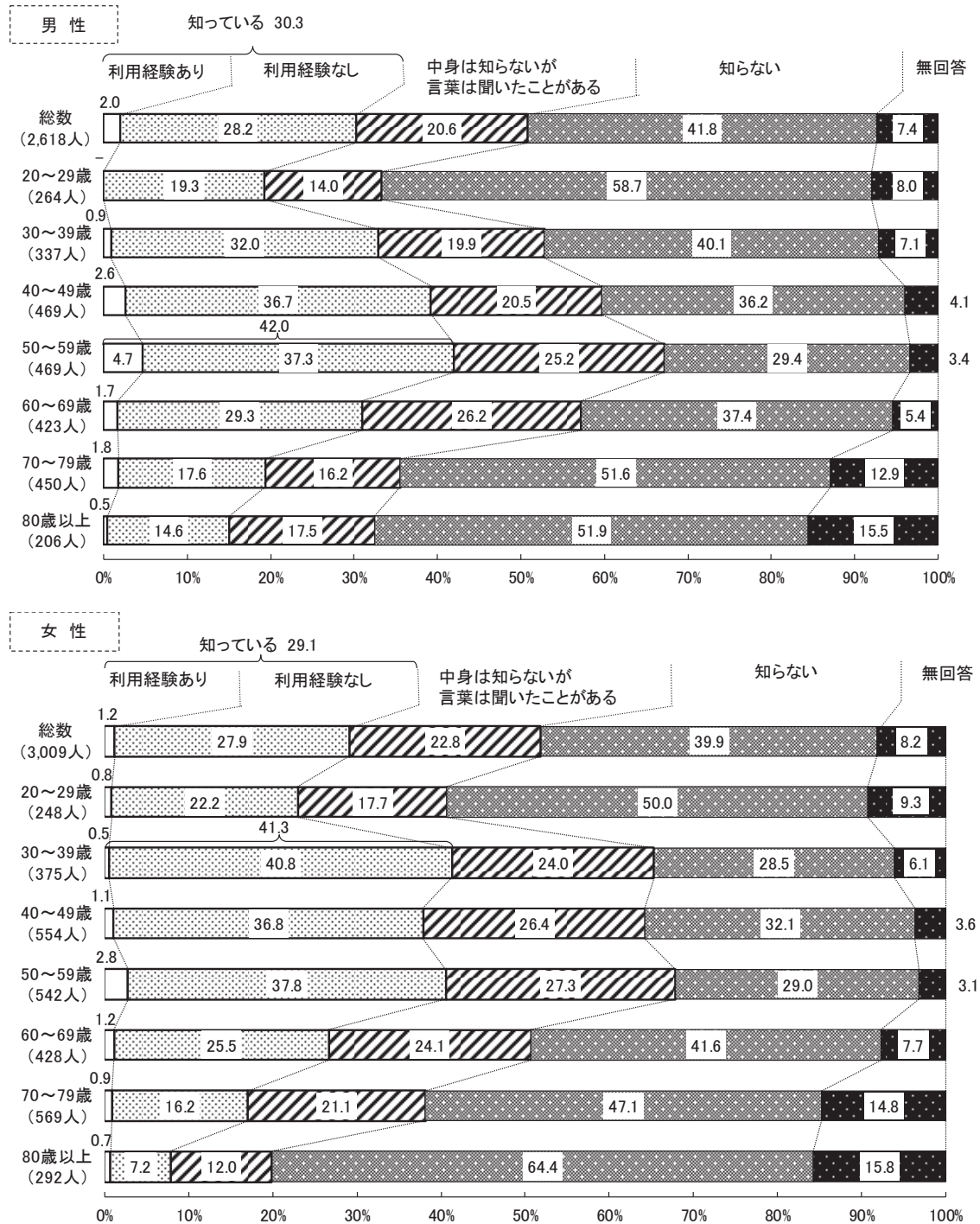
(1) 保険適用による禁煙治療の認知度—性・年齢階級別

保険適用による禁煙治療を「知っている」割合は、50代男性では42.0%、30代女性では41.3%

保険適用による禁煙治療の認知度を性・年齢階級別にみると、「利用経験あり」と「利用経験なし」を合わせた「知っている」割合は、50代男性では42.0%、30代女性では41.3%となっている。

「利用経験あり」の割合は、50代男性では4.7%となっている。(図Ⅱ-11-2)

図Ⅱ-11-2 保険適用による禁煙治療の認知度—性・年齢階級別



(注) 回答別比率を合算した比率 (30.3%) は、回答別人数を合算して求めているため、比率の内訳の合計とは一致しない。

(2) 保険適用による禁煙治療の認知度—喫煙経験の有無、喫煙経験者の現在の喫煙状況別

保険適用による禁煙治療を「知っている」割合は、現在、たばこを吸っている人では4割を超えている

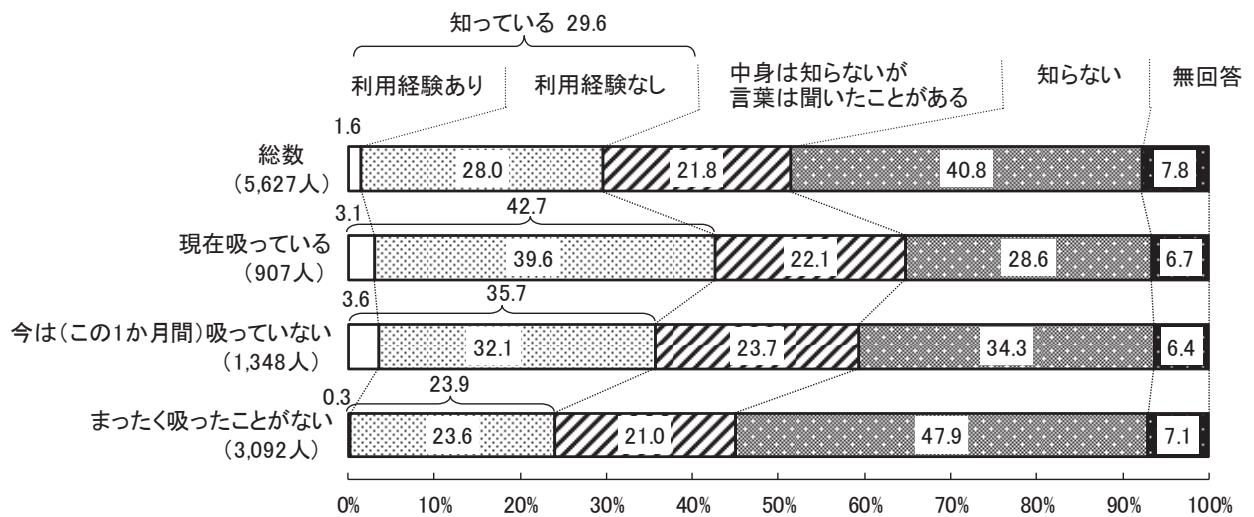
保険適用による禁煙治療の認知度を喫煙経験の有無、喫煙経験者の現在の喫煙状況別にみると、「知っている」割合は、たばこを現在吸っている人では42.7%、まったく吸ったことがない人では23.9%となっている。

「利用経験あり」の割合は、今は（この1か月間）吸っていない人では3.6%となっている。

(図Ⅱ-11-3)

図Ⅱ-11-3 保険適用による禁煙治療の認知度

—喫煙経験の有無、喫煙経験者の現在の喫煙状況別

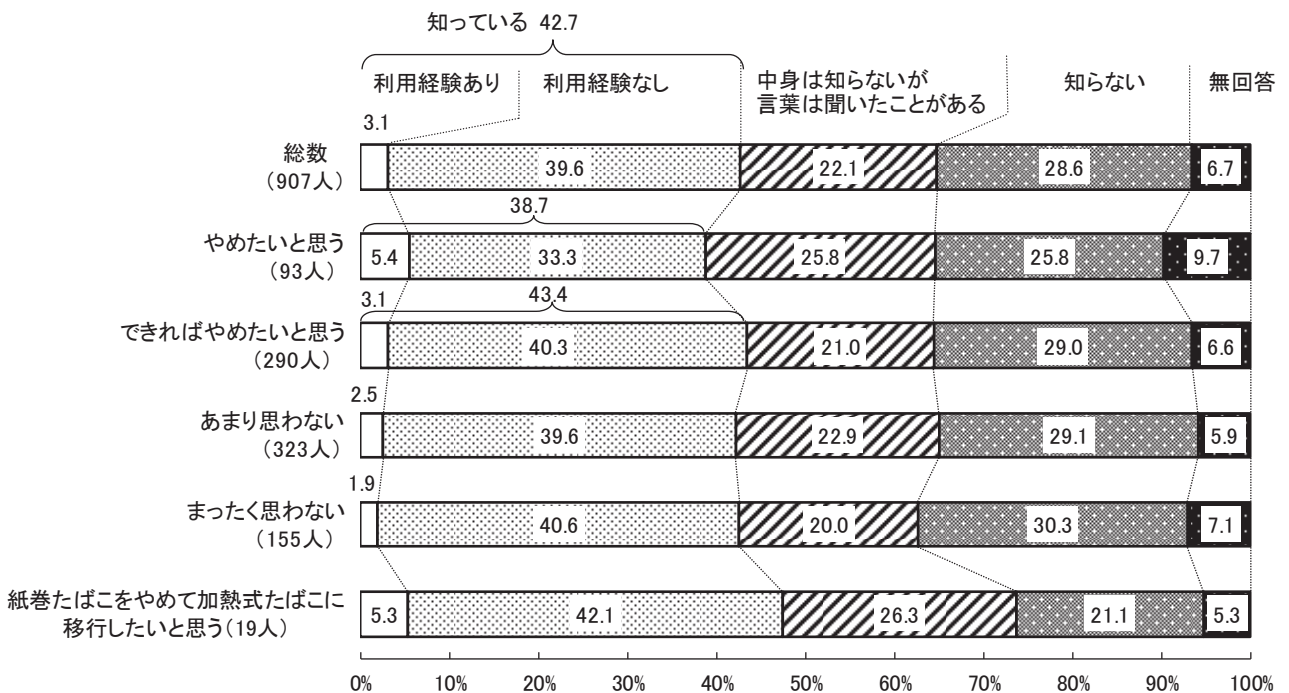


(3) 保険適用による禁煙治療の認知度－禁煙意欲別

保険適用による禁煙治療を「知っている」割合は、たばこを「やめたいと思う」人では 38.7%、「できればやめたいと思う」人では 43.4%

保険適用による禁煙治療の認知度を禁煙意欲別にみると、「知っている」割合は、たばこを「やめたいと思う」人では 38.7%、「できればやめたいと思う」人では 43.4%となっている。  
 「利用経験あり」の割合は、たばこを「やめたいと思う」人では 5.4%、「できればやめたいと思う」人では 3.1%となっている。(図Ⅱ-11-4)

図Ⅱ-11-4 保険適用による禁煙治療の認知度－禁煙意欲別

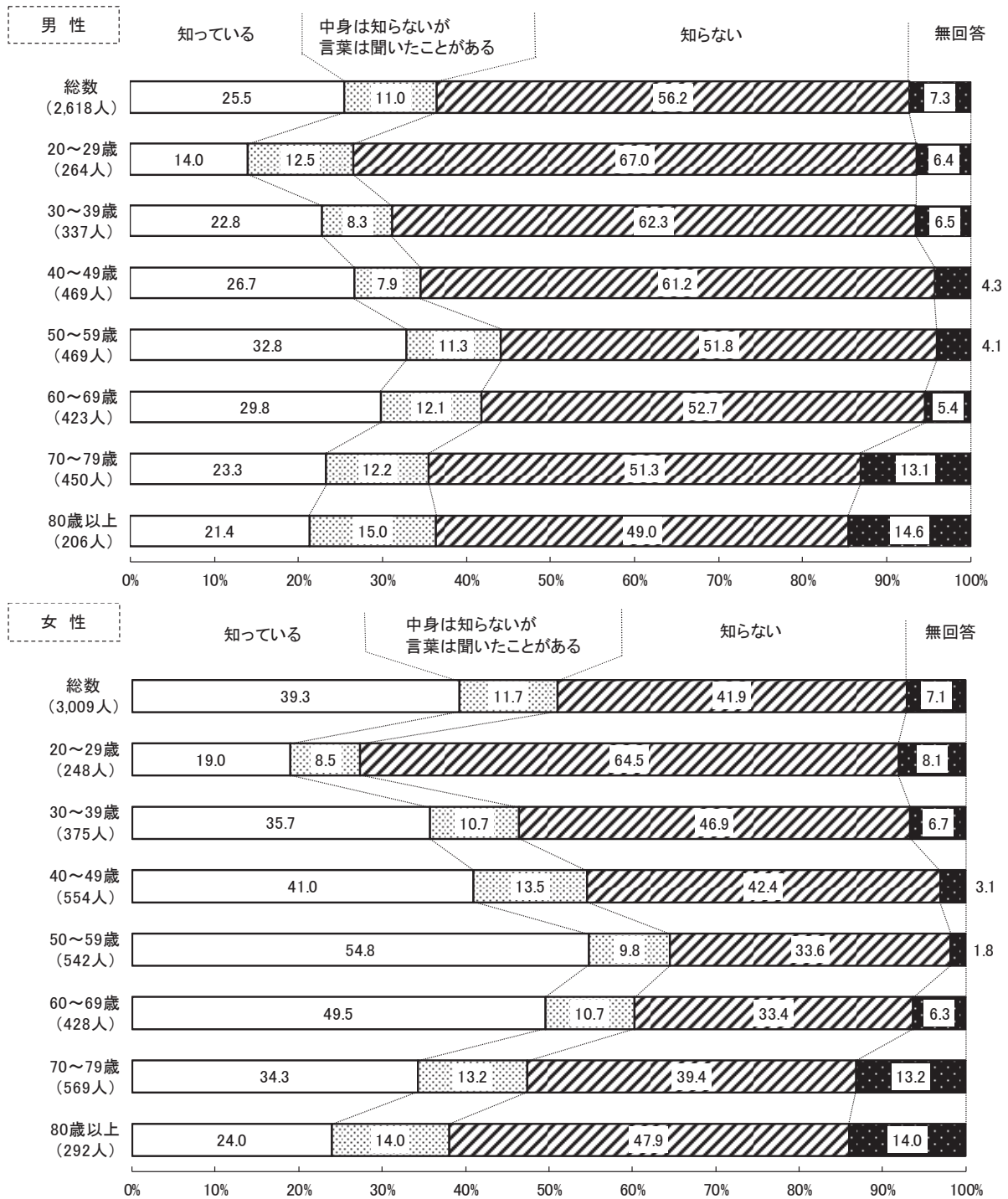


(4) 8020 運動（歯科）の認知度一性・年齢階級別

8020 運動を「知っている」割合は、女性の方が男性より高い

8020 運動（歯科）の認知度を性・年齢階級別にみると、「知っている」割合は、男性 25.5%、女性 39.3%と、女性の方が 13.8 ポイント高くなっている。特に 50 代女性では、「知っている」割合が 54.8%となっている。（図Ⅱ-11-5）

図Ⅱ-11-5 8020 運動（歯科）の認知度一性・年齢階級別



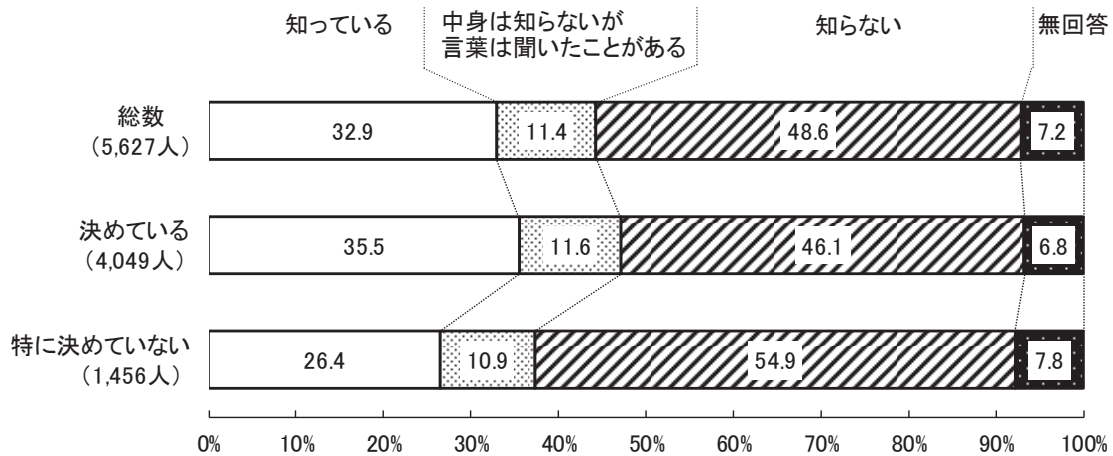
(5) 8020 運動（歯科）の認知度—かかりつけ歯科医の有無別

8020 運動を「知っている」割合は、かかりつけ歯科医を決めている人では 35.5%

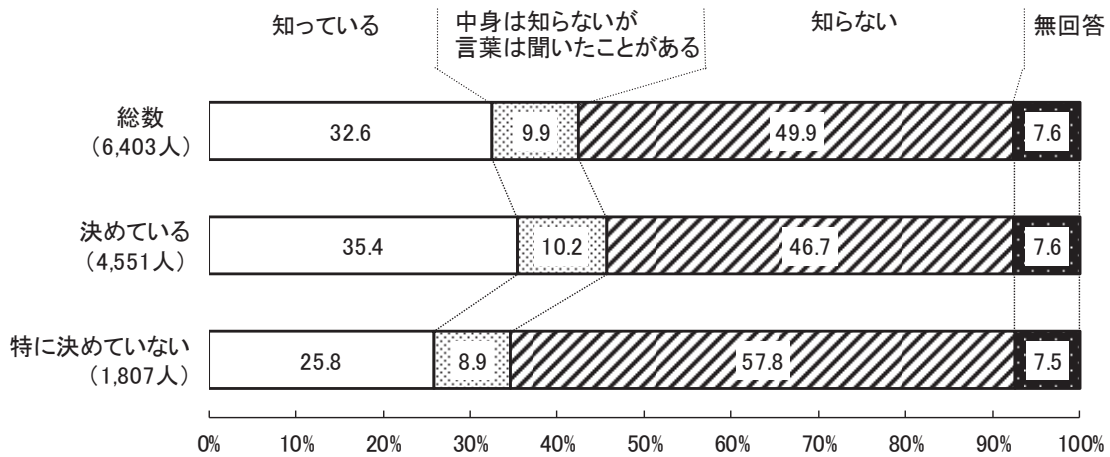
8020 運動（歯科）の認知度をかかりつけ歯科医の有無別にみると、「知っている」割合は、かかりつけ歯科医を決めている人では 35.5%、特に決めていない人では 26.4%となっている。  
 (図Ⅱ-11-6)

図Ⅱ-11-6 8020 運動（歯科）の認知度—かかりつけ歯科医の有無別

令和元年度



平成 26 年度



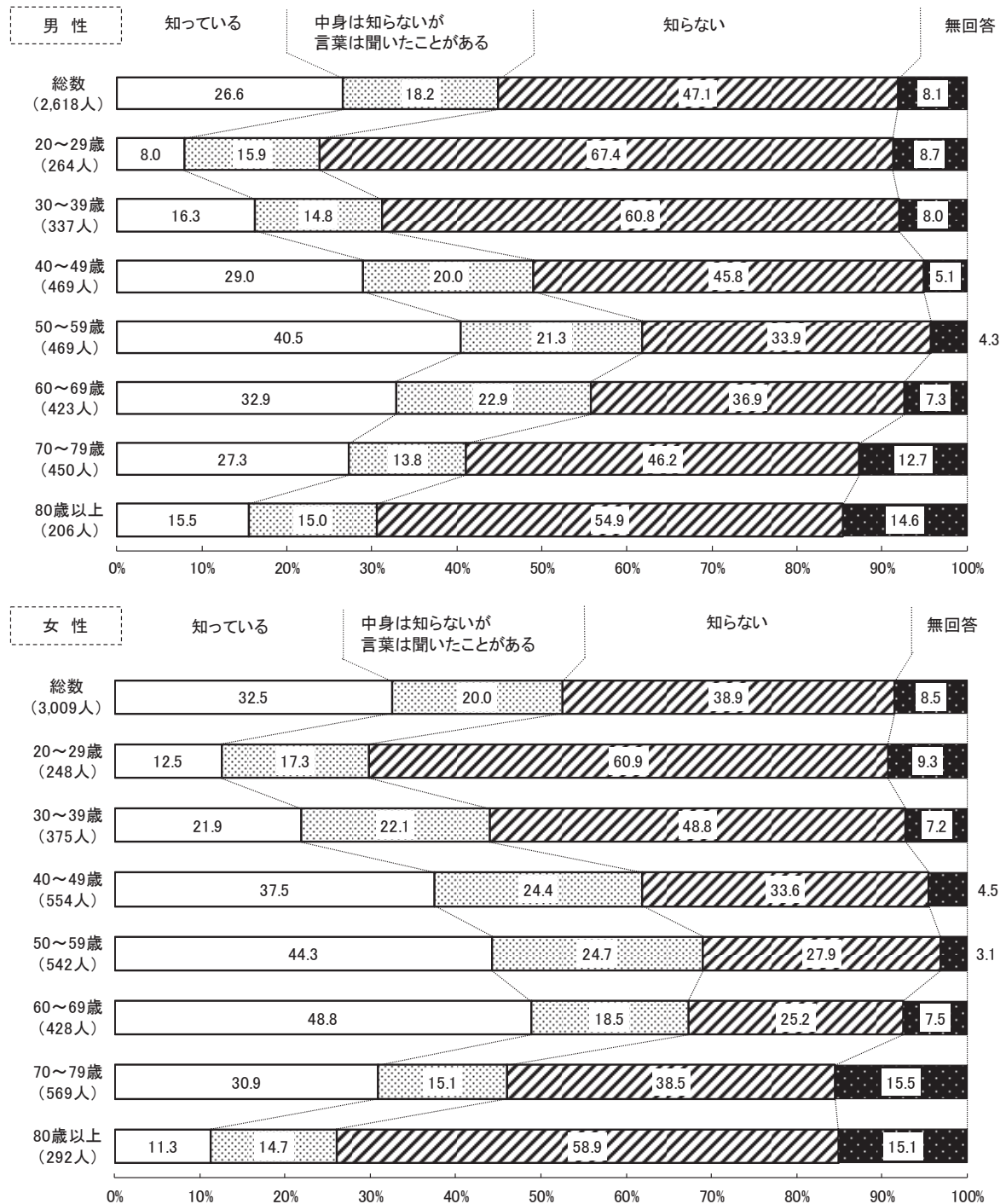
(6) 特定健康診査・特定保健指導の認知度－性・年齢階級別

特定健康診査・特定保健指導を「知っている」割合は、男性 26.6%、女性 32.5%

特定健康診査・特定保健指導の認知度を性別で見ると、「知っている」割合は、男性 26.6%、女性 32.5%となっている。

性・年齢階級別にみると、「知っている」割合は、50代男性、50代～60代女性では4割を超えている。(図Ⅱ-11-7)

図Ⅱ-11-7 特定健康診査・特定保健指導の認知度－性・年齢階級別



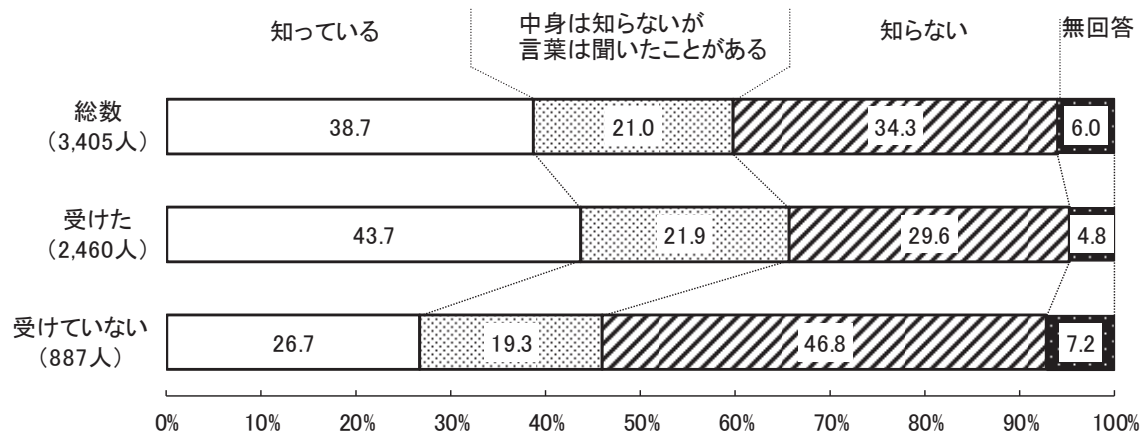
(7) 特定健康診査・特定保健指導の認知度－過去1年間の特定健康診査の受診の有無別

特定健康診査・特定保健指導を「知っている」割合は、特定健康診査受診者では4割を超えている

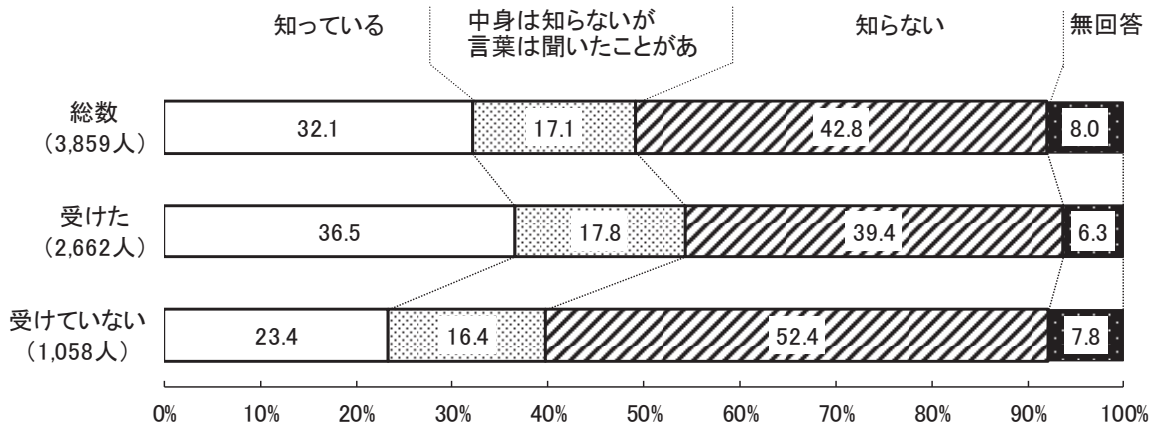
特定健康診査・特定保健指導の認知度を、過去1年間の特定健康診査の受診の有無別にみると、「知っている」割合は、特定健康診査を受けた人では43.7%、受けていない人では26.7%となっている。(図Ⅱ-11-8)

図Ⅱ-11-8 特定健康診査・特定保健指導の認知度－過去1年間の特定健康診査の受診の有無別

令和元年度



平成26年度



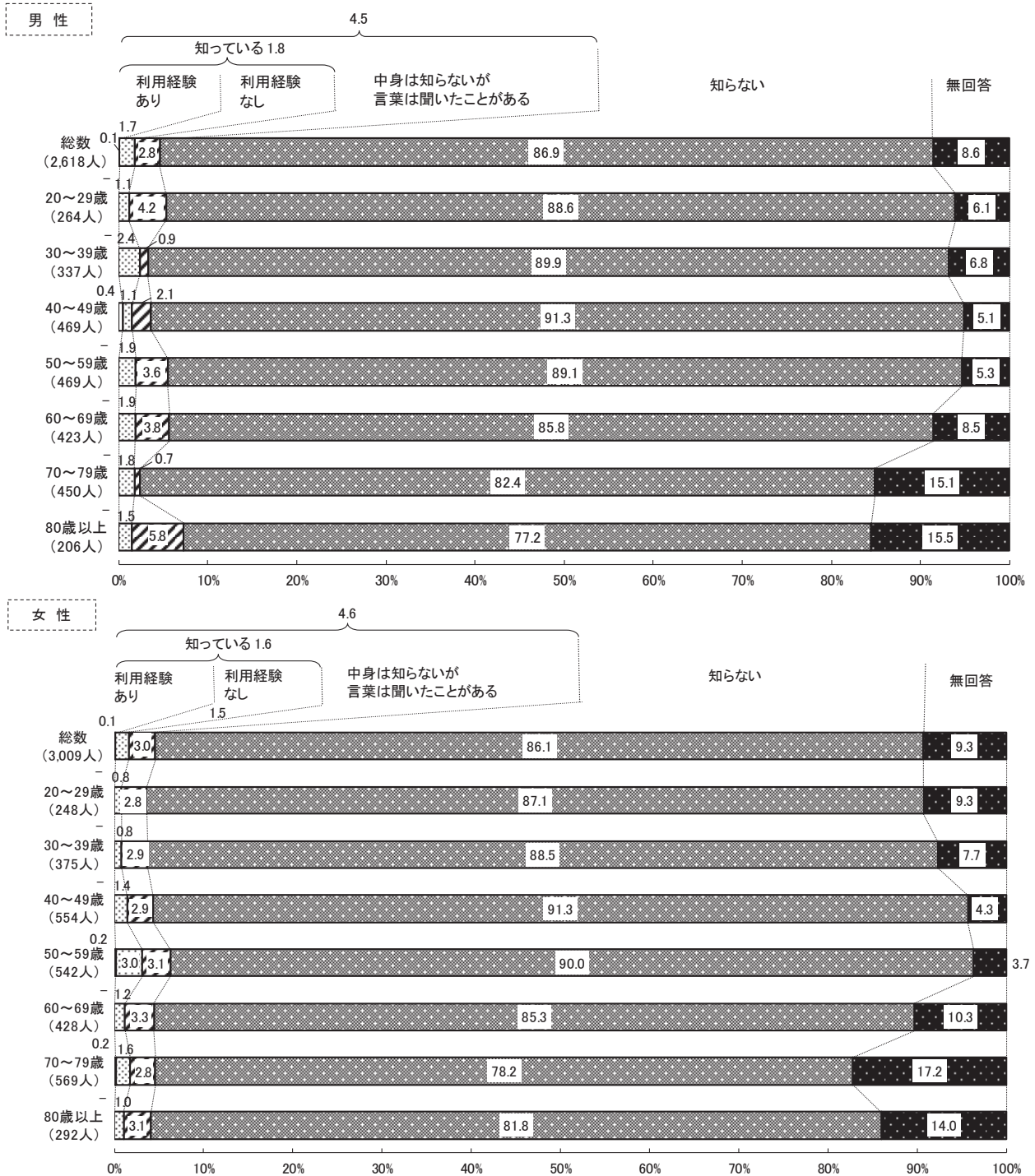


(8) とうきょう健康ステーションの認知度－性・年齢階級別

とうきょう健康ステーションを「知っている」と「中身は知らないが言葉は聞いたことがある」を合わせた割合は、男性 4.5%、女性 4.6%

とうきょう健康ステーションの認知度を性別でみると、「知っている」と「中身は知らないが言葉は聞いたことがある」を合わせた割合は、男性 4.5%、女性 4.6%となっている。(図Ⅱ-11-9)

図Ⅱ-11-9 とうきょう健康ステーションの認知度－性・年齢階級別



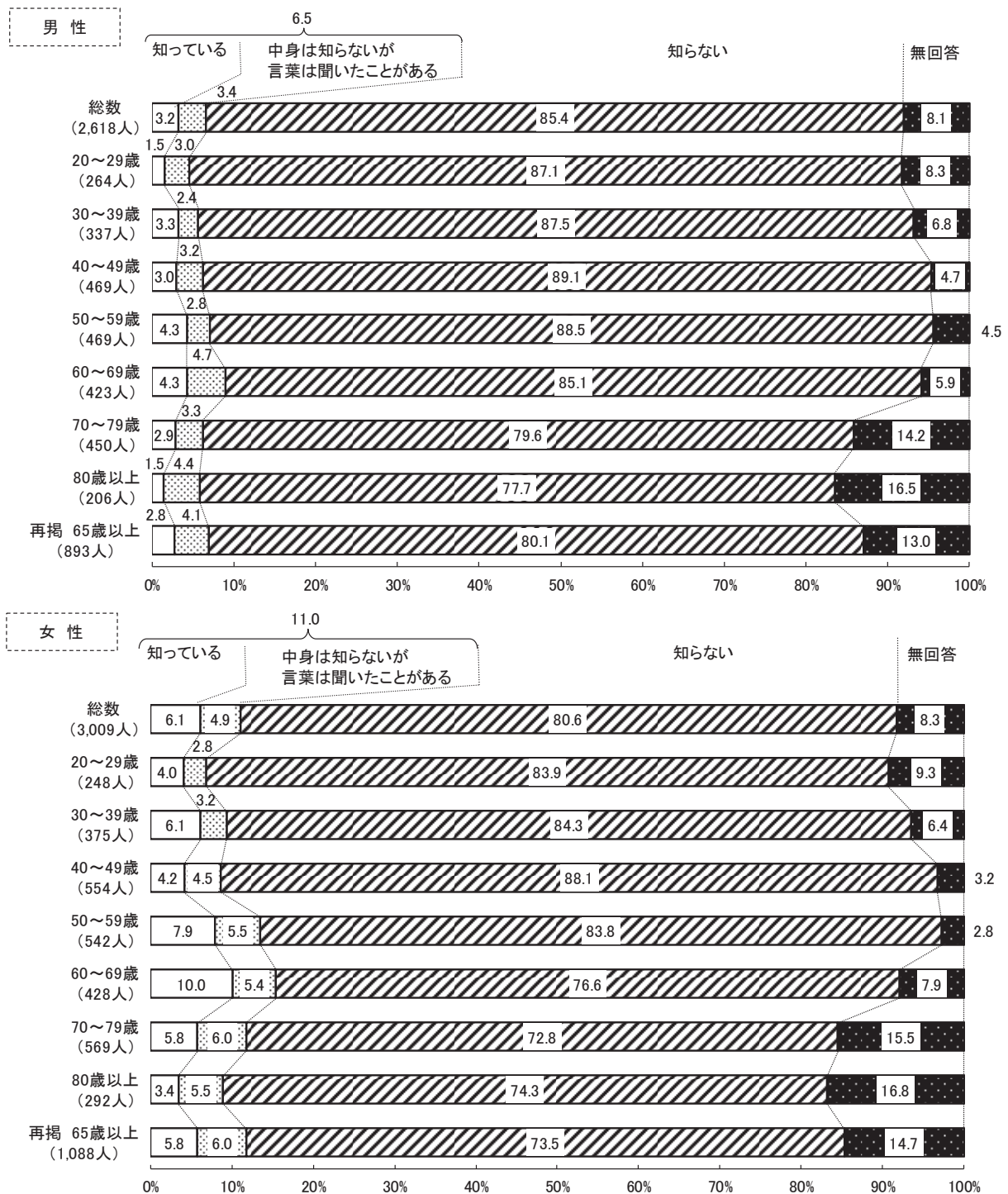
(注) 回答別比率を合算した比率 (4.5%) は、回答別人数を合算して求めているため、比率の内訳の合計とは一致しない。

(9) フレイルの認知度—性・年齢階級別

フレイルを「知っている」と「中身は知らないが言葉は聞いたことがある」を合わせた割合は、男性 6.5%、女性 11.0%

フレイルの認知度を性別で見ると、「知っている」と「中身は知らないが言葉は聞いたことがある」を合わせた割合は、男性 6.5%、女性 11.0%となっている。(図Ⅱ-11-10)

図Ⅱ-11-10 フレイルの認知度—性・年齢階級別



(注) 回答別比率を合算した比率 (6.5%) は、回答別人数を合算して求めているため、比率の内訳の合計とは一致しない。

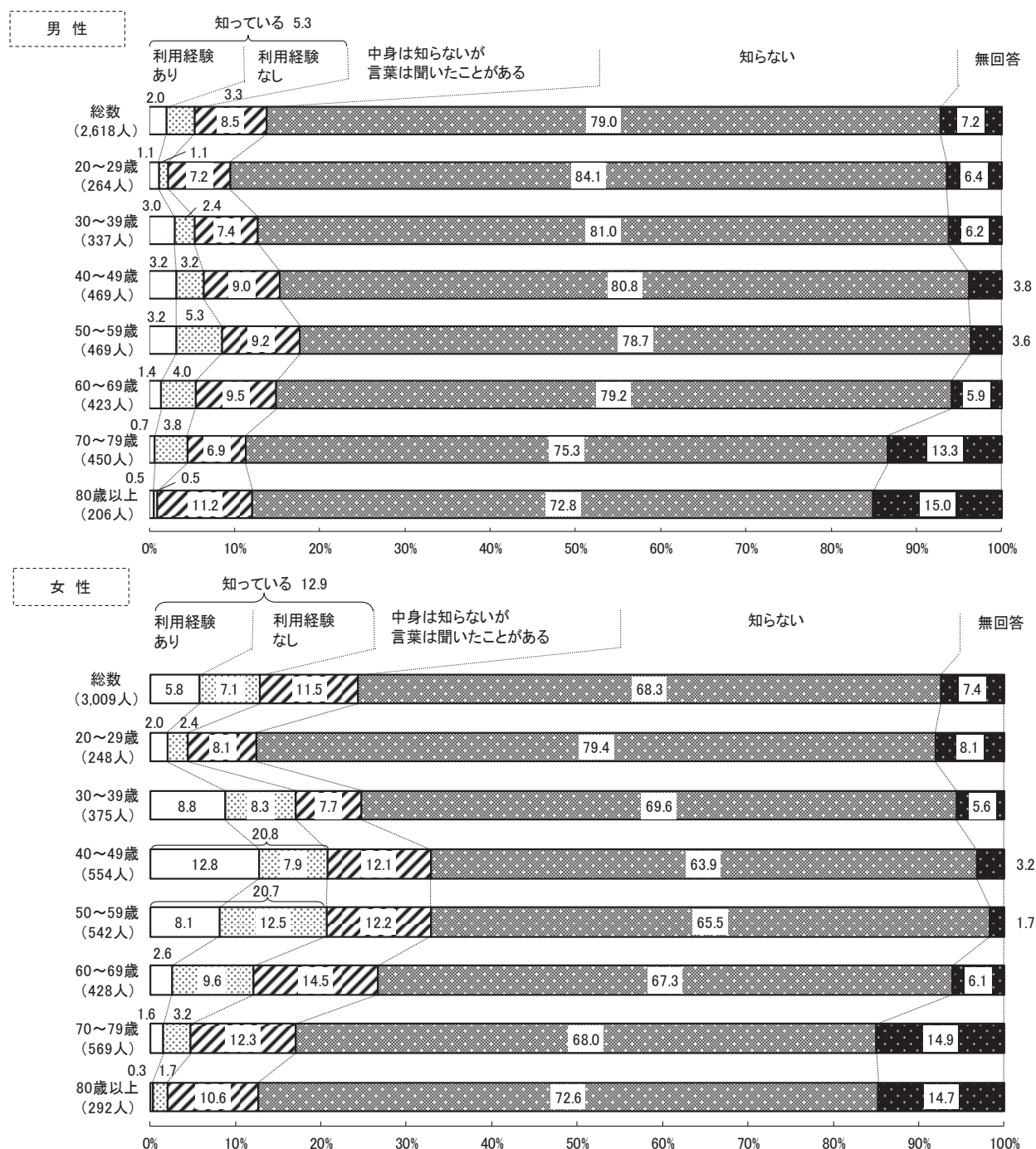
(10) 東京都医療機関案内サービス「ひまわり」の認知度一性・年齢階級別

東京都医療機関案内サービス「ひまわり」を「知っている」割合は、40代～50代女性では約2割

東京都医療機関案内サービス「ひまわり」の認知度を性・年齢階級別にみると、「知っている」割合は、男性5.3%、女性12.9%となっており、40代～50代女性では約2割となっている(20.8%、20.7%)。

「利用経験あり」の割合は、40代女性では12.8%となっている。(図Ⅱ-11-11)

図Ⅱ-11-11 東京都医療機関案内サービス「ひまわり」の認知度一性・年齢階級別



(注) 回答別比率を合算した比率(20.8%、20.7%)は、回答別人数を合算して求めているため、比率の内訳の合計とは一致しない。

(11) 東京都医療機関案内サービス「ひまわり」の認知度

—世帯類型（18歳未満の子供がいる世帯）別

東京都医療機関案内サービス「ひまわり」を「知っている」割合は、18歳未満の子供がいる世帯に属する人では17.3%

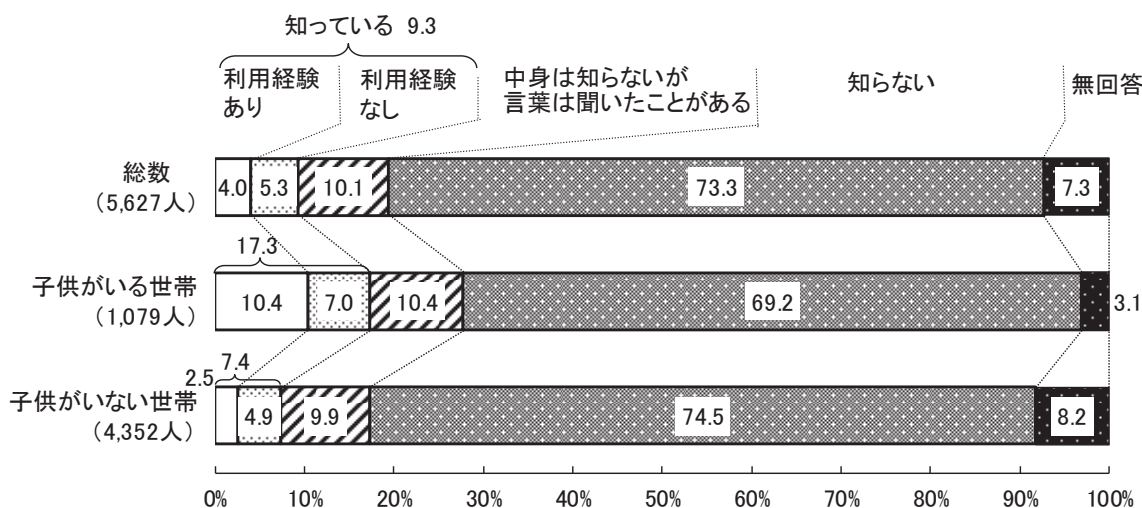
東京都医療機関案内サービス「ひまわり」の認知度を、世帯類型（18歳未満の子供がいる世帯）別にみると、「知っている」割合は、18歳未満の子供がいる世帯に属する人では17.3%、子供がいない世帯に属する人では7.4%となっている。

「利用経験あり」の割合は、18歳未満の子供がいる世帯に属する人では10.4%となっている。（図Ⅱ-11-12）

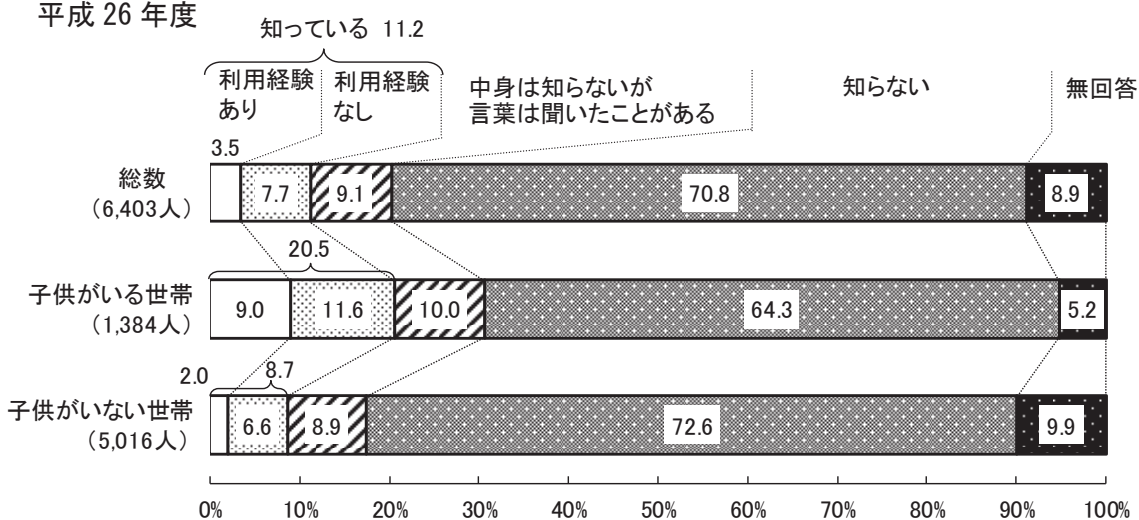
図Ⅱ-11-12 東京都医療機関案内サービス「ひまわり」の認知度

—世帯類型（18歳未満の子供がいる世帯）別

令和元年度



平成26年度



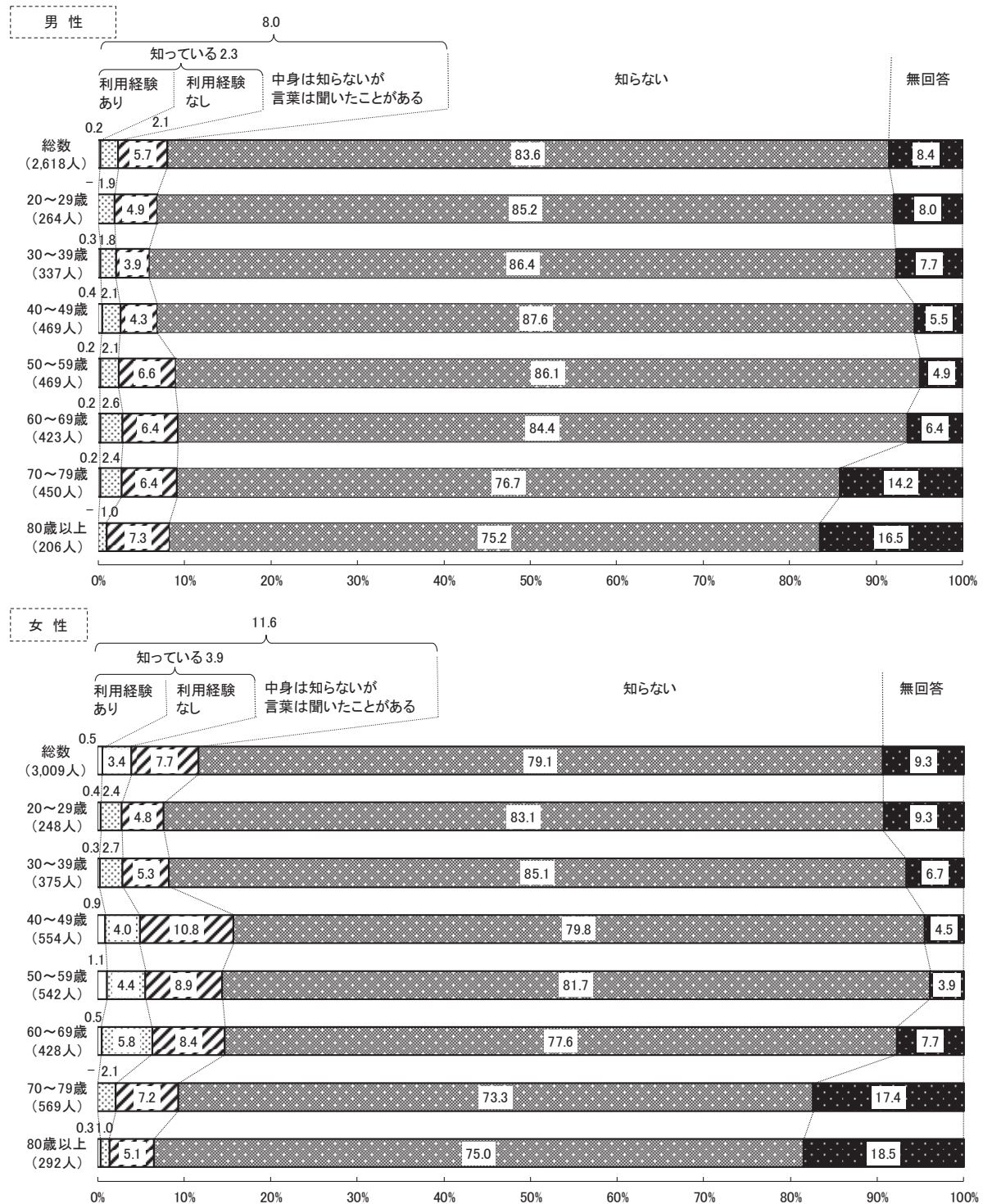
(注) 回答別比率を合算した比率（17.3%、20.5%、8.7%）は、回答別人数を合算して求めているため、比率の内訳の合計とは一致しない。

(12) 「暮らしの中の医療情報ナビ」の認知度－性・年齢階級別

「暮らしの中の医療情報ナビ」を「知っている」と「中身は知らないが言葉は聞いたことがある」を合わせた割合は、男性 8.0%、女性 11.6%

「暮らしの中の医療情報ナビ」の認知度を性別で見ると、「知っている」と「中身は知らないが言葉は聞いたことがある」を合わせた割合は、男性 8.0%、女性 11.6%となっている。(図Ⅱ-11-13)

図Ⅱ-11-13 「暮らしの中の医療情報ナビ」の認知度－性・年齢階級別

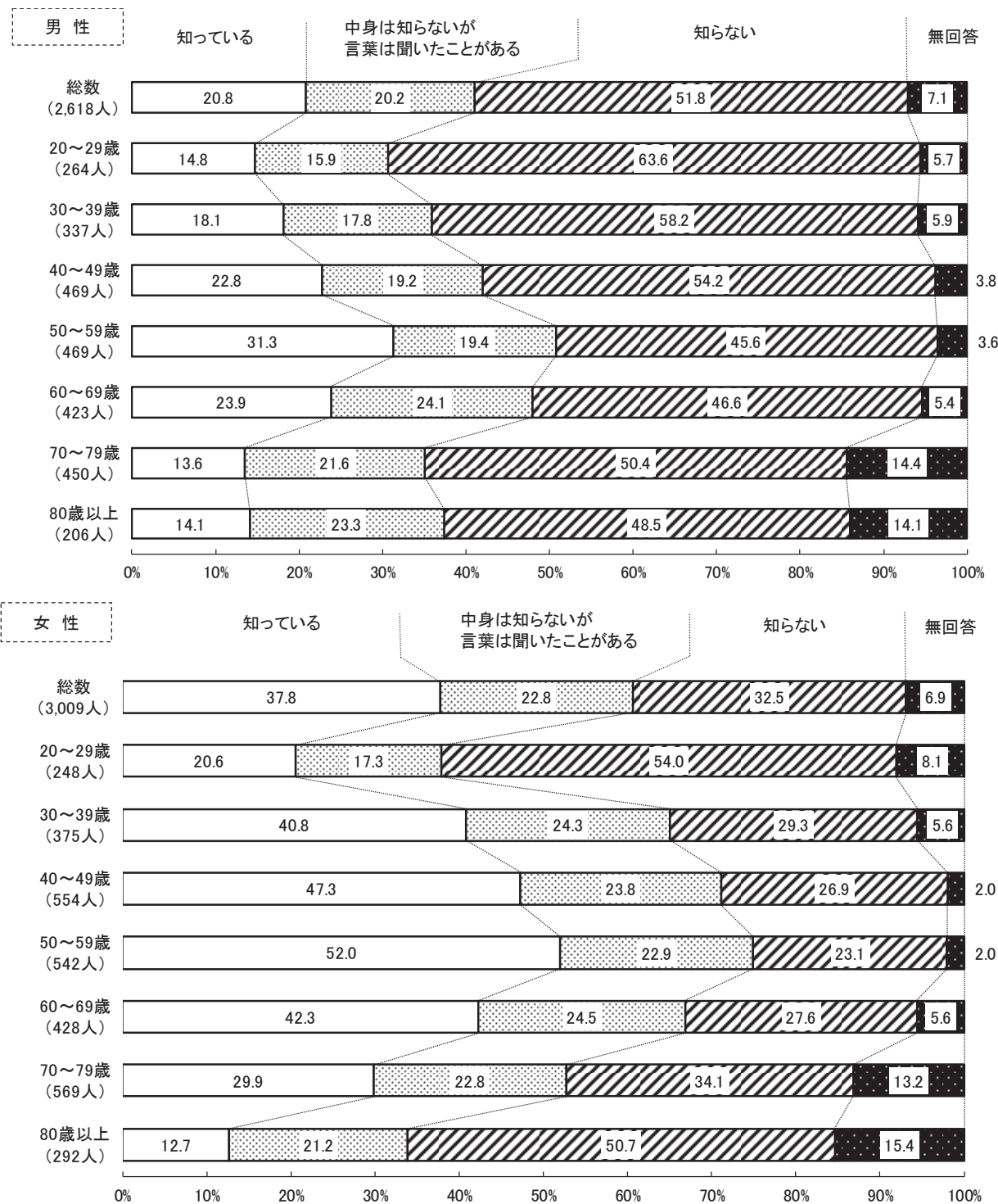


(13) 緩和ケアの認知度－性・年齢階級別

緩和ケアを「知っている」割合は、女性の方が男性より高い

緩和ケアの認知度を性・年齢階級別にみると、「知っている」割合は、男性 20.8%、女性 37.8%と、女性の方が 17.0 ポイント高くなっている。特に 50 代女性では、「知っている」割合が 52.0%となっている。(図Ⅱ-11-14)

図Ⅱ-11-14 緩和ケアの認知度－性・年齢階級別

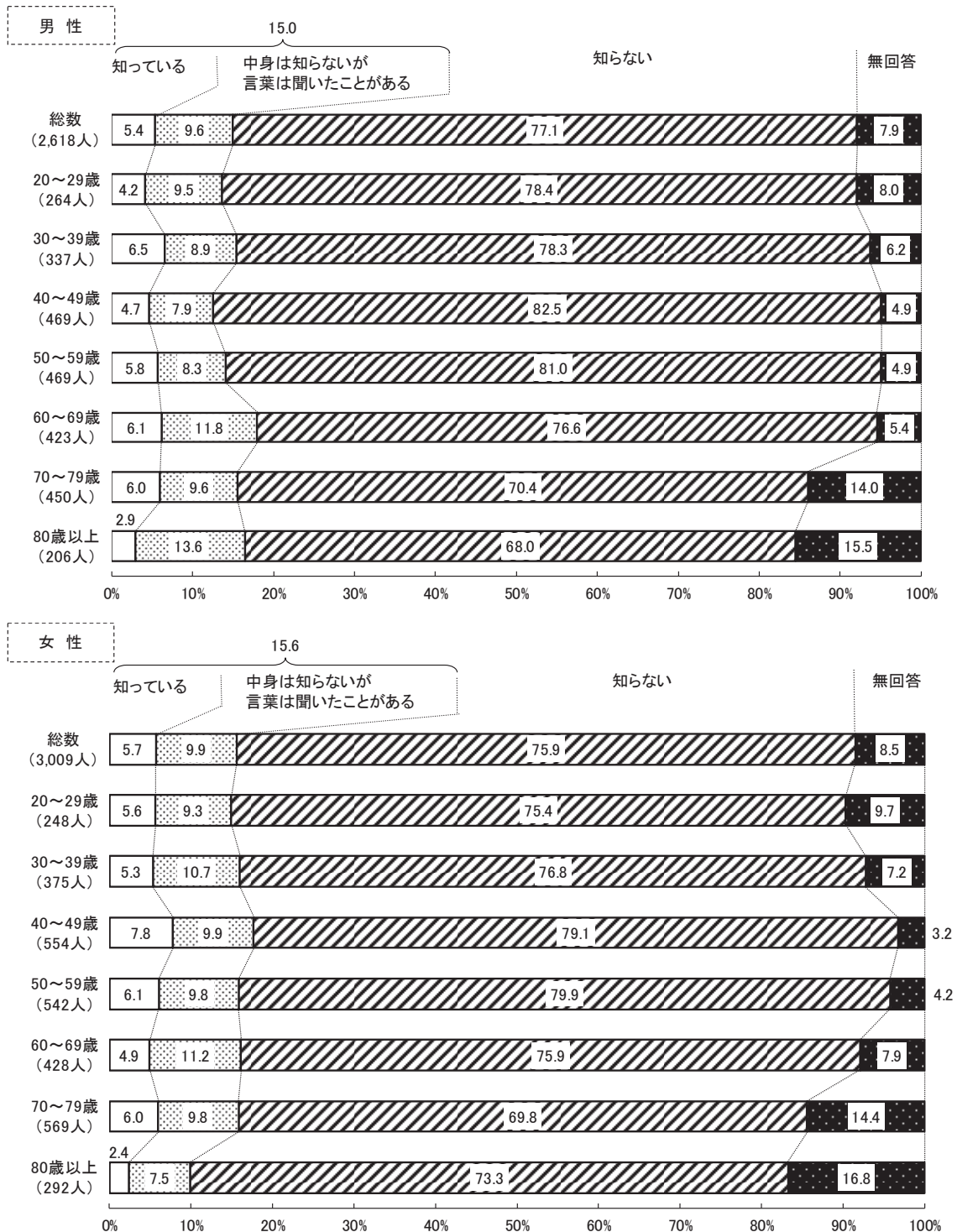


(14) がん登録の認知度—性・年齢階級別

がん登録を「知っている」と「中身は知らないが言葉は聞いたことがある」を合わせた割合は、男性 15.0%、女性 15.6%

がん登録の認知度を性別で見ると、「知っている」と「中身は知らないが言葉は聞いたことがある」を合わせた割合は、男性 15.0%、女性 15.6%となっている。(図Ⅱ-11-15)

図Ⅱ-11-15 がん登録の認知度—性・年齢階級別

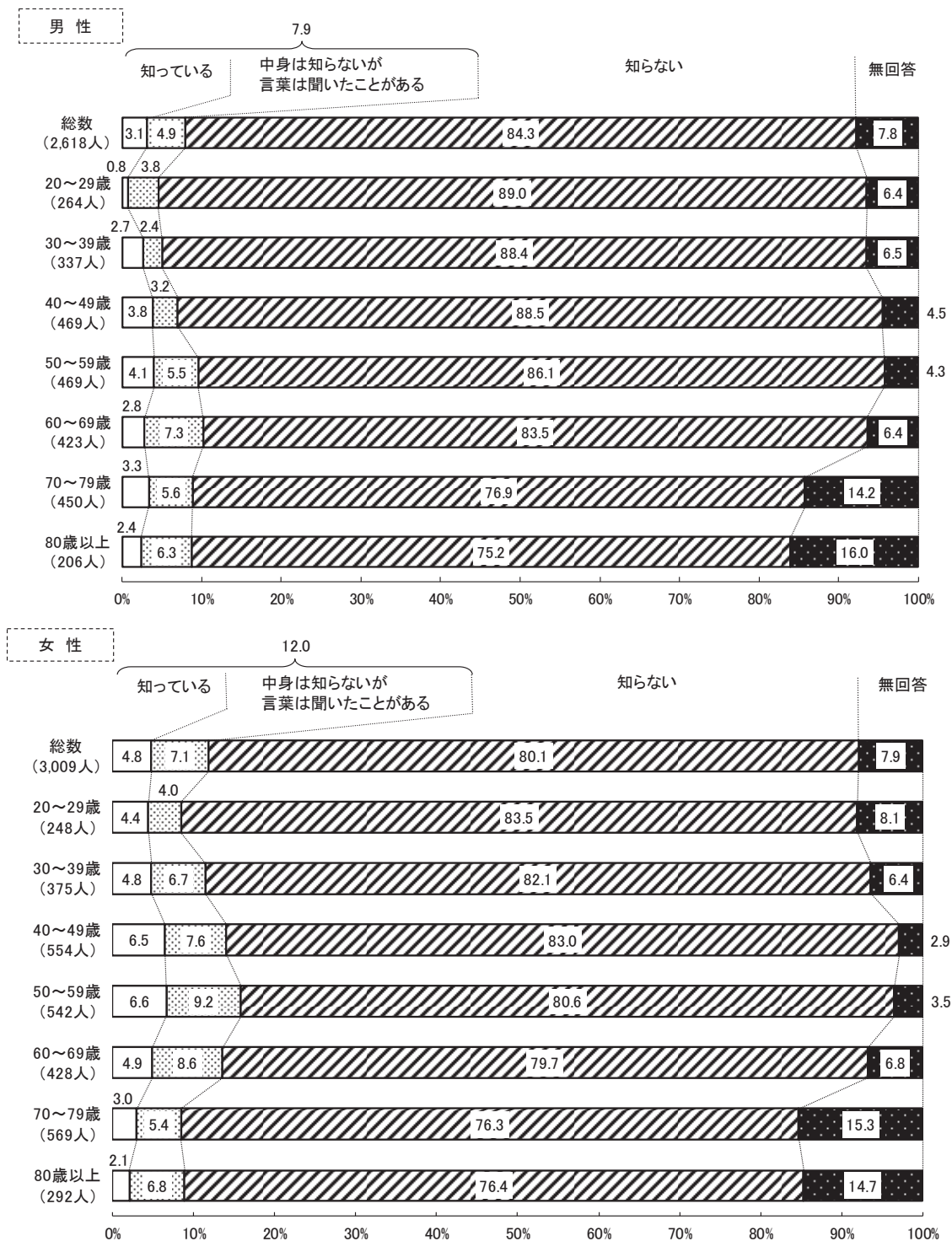


(15) 救急医療の東京ルール認知度一性・年齢階級別

救急医療の東京ルールを「知っている」と「中身は知らないが言葉は聞いたことがある」を合わせた割合は、男性 7.9%、女性 12.0%

救急医療の東京ルールの認知度を性別でみると、「知っている」と「中身は知らないが言葉は聞いたことがある」を合わせた割合は、男性 7.9%、女性 12.0%となっている。(図Ⅱ-11-16)

図Ⅱ-11-16 救急医療の東京ルール認知度一性・年齢階級別



(注) 回答別比率を合算した比率(7.9%、12.0%)は、回答別人数を合算して求めているため、比率の内訳の合計とは一致しない。



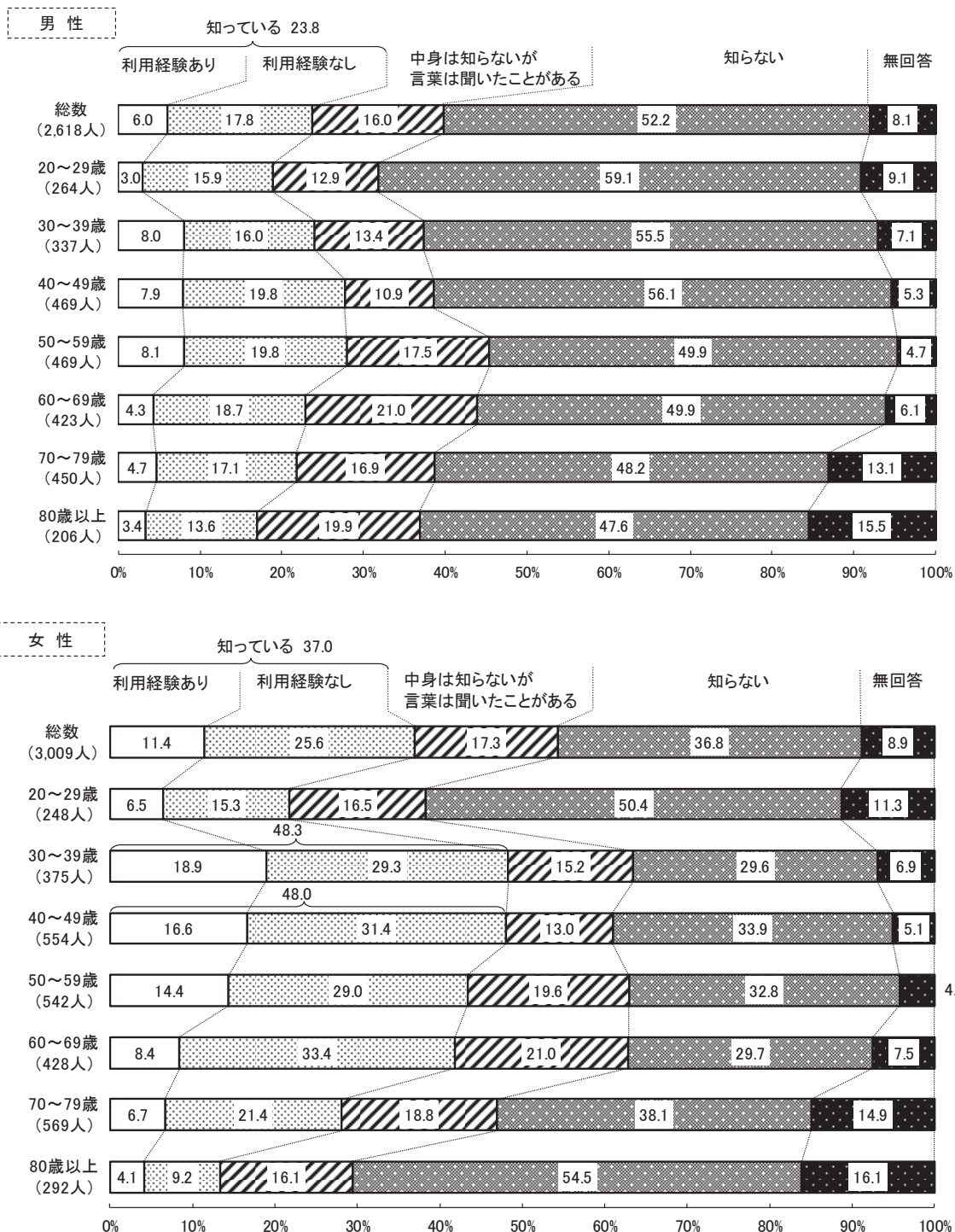
(16) 救急相談センター（#7119）の認知度－性・年齢階級別

救急相談センター（#7119）を「知っている」割合は、30代～40代女性では約5割

救急相談センター（#7119）の認知度を性・年齢階級別にみると、「知っている」割合は、男性 23.8%、女性 37.0%と、女性の方が 13.2 ポイント高くなっている。特に 30代～40代女性では、「知っている」割合が約5割となっている（48.3%、48.0%）。

「利用経験あり」の割合は、30代女性では 18.9%となっている。（図Ⅱ-11-17）

図Ⅱ-11-17 救急相談センター（#7119）の認知度－性・年齢階級別



(17) 救急相談センター（#7119）の認知度—世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別

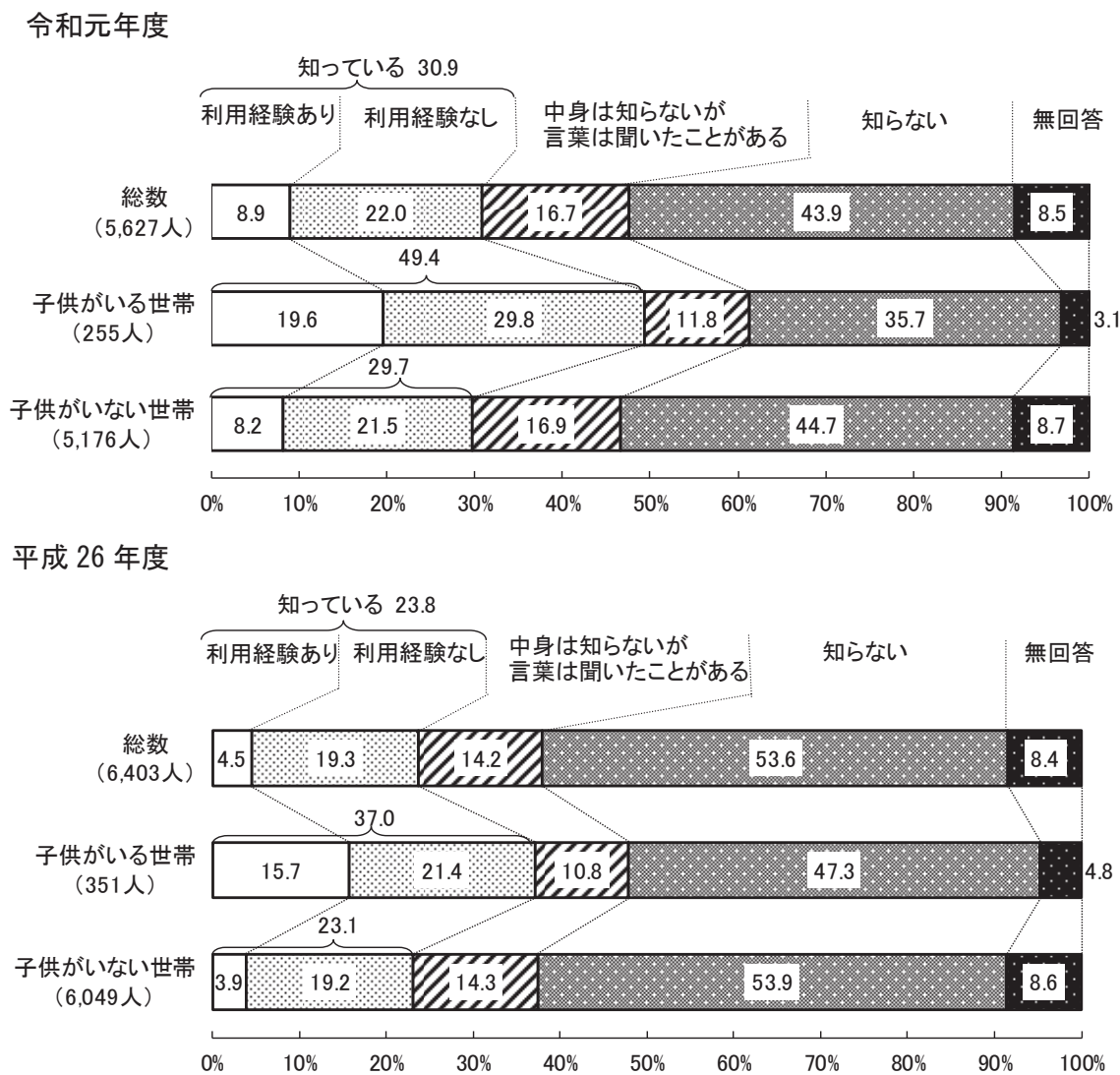
救急相談センター（#7119）を「知っている」割合は、3歳未満の子供がいる世帯に属する人では約5割

救急相談センター（#7119）の認知度を、世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別にみると、「知っている」割合は、3歳未満の子供がいる世帯に属する人では49.4%、子供がいない世帯に属する人では29.7%と、子供がいる世帯に属する人の方が19.7ポイント高くなっている。

「利用経験あり」の割合は、3歳未満の子供がいる世帯に属する人では19.6%、子供がいない世帯に属する人では8.2%と、子供がいる世帯に属する人の方が11.4ポイント高くなっている。

平成26年度調査と比べて、3歳未満の子供がいる世帯に属する人の「知っている割合」が12.4ポイント増加している。（図Ⅱ-11-18）

図Ⅱ-11-18 救急相談センター（#7119）の認知度—世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別



(注) 回答別比率を合算した比率 (37.0%) は、回答別人数を合算して求めているため、比率の内訳の合計とは一致しない。

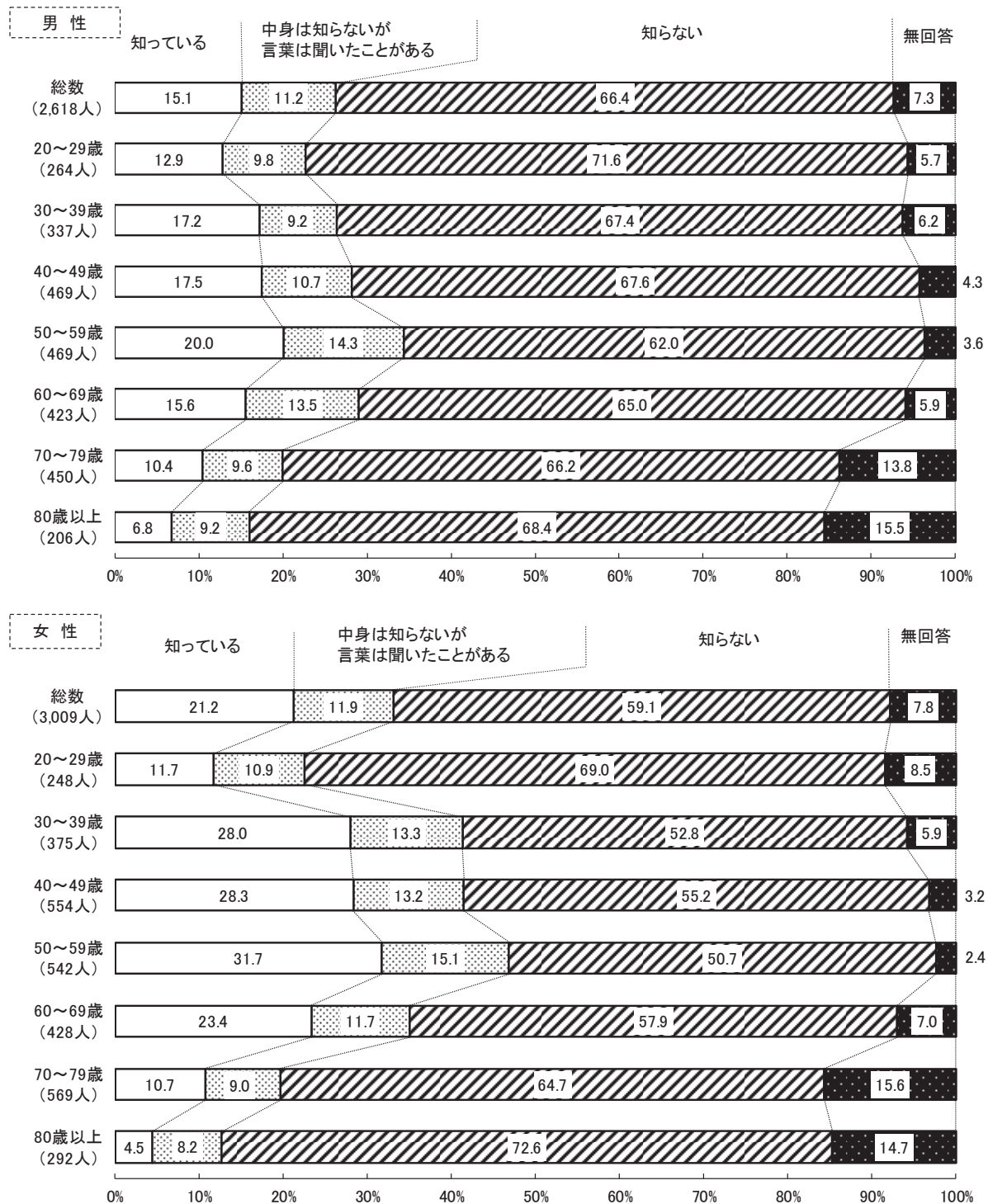
(18) 救急搬送トリアージの認知度－性・年齢階級別

救急搬送トリアージを「知っている」割合は、50代女性では31.7%

救急搬送トリアージの認知度を性別で見ると、「知っている」割合は、男性15.1%、女性21.2%となっている。

性・年齢階級別にみると、「知っている」割合は、50代女性では31.7%となっている。(図Ⅱ-11-19)

図Ⅱ-11-19 救急搬送トリアージの認知度－性・年齢階級別



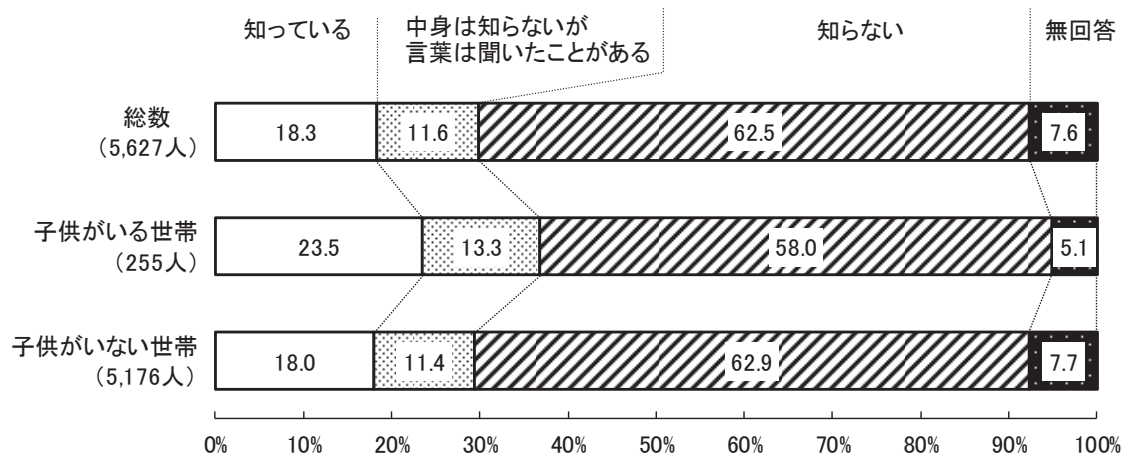
(19) 救急搬送トリアージの認知度－世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別

救急搬送トリアージを「知っている」割合は、3歳未満の子供がいる世帯に属する人では23.5%

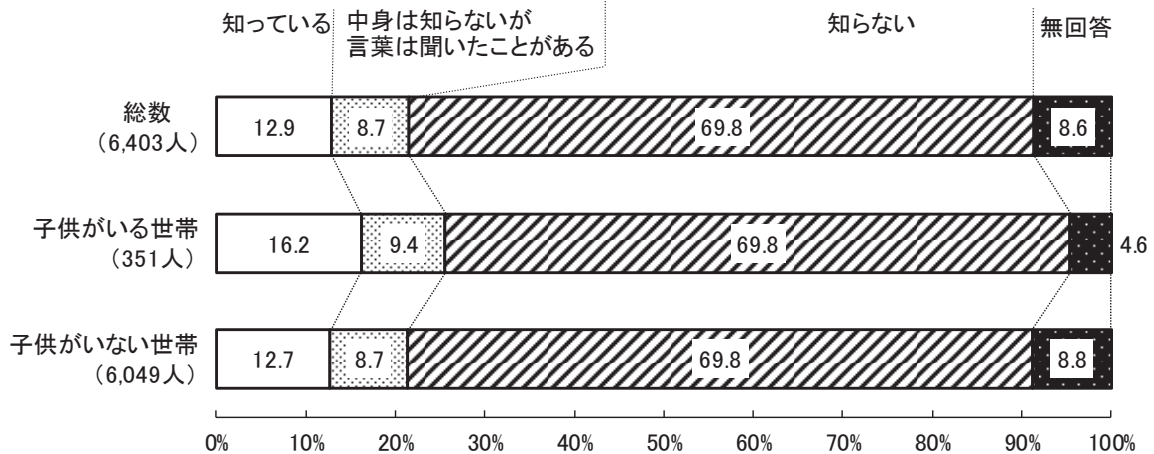
救急搬送トリアージの認知度を、世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別にみると、「知っている」割合は、3歳未満の子供がいる世帯に属する人では23.5%、子供がいない世帯に属する人では18.0%となっている。（図Ⅱ-11-20）

図Ⅱ-11-20 救急搬送トリアージの認知度－世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別

令和元年度



平成26年度



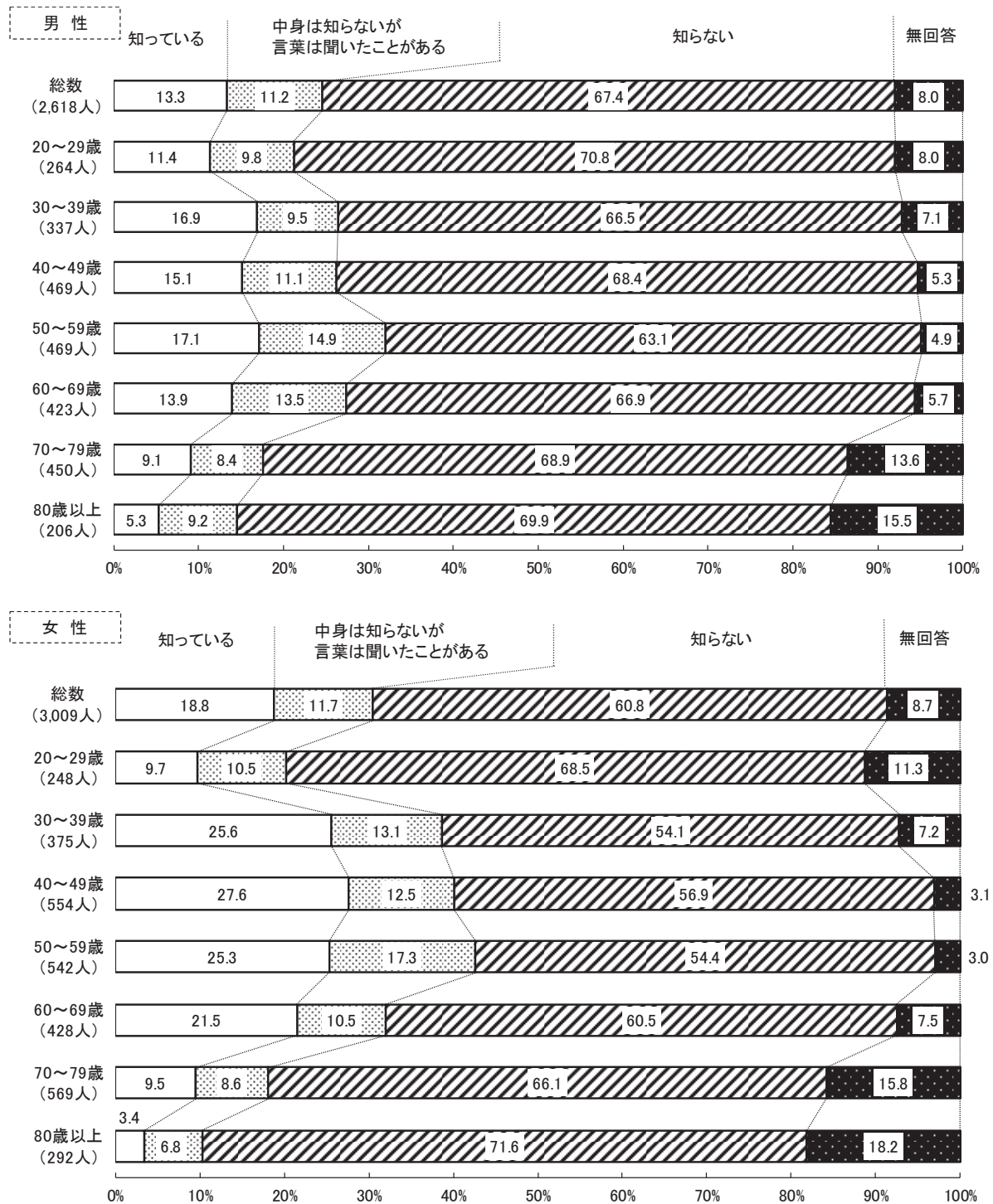
(20) 救急外来トリアージの認知度－性・年齢階級別

救急外来トリアージを「知っている」割合は、40代女性では27.6%

救急外来トリアージの認知度を性別で見ると、「知っている」割合は、男性13.3%、女性18.8%となっている。

性・年齢階級別にみると、「知っている」割合は、40代女性では27.6%となっている。(図Ⅱ-11-21)

図Ⅱ-11-21 救急外来トリアージの認知度－性・年齢階級別



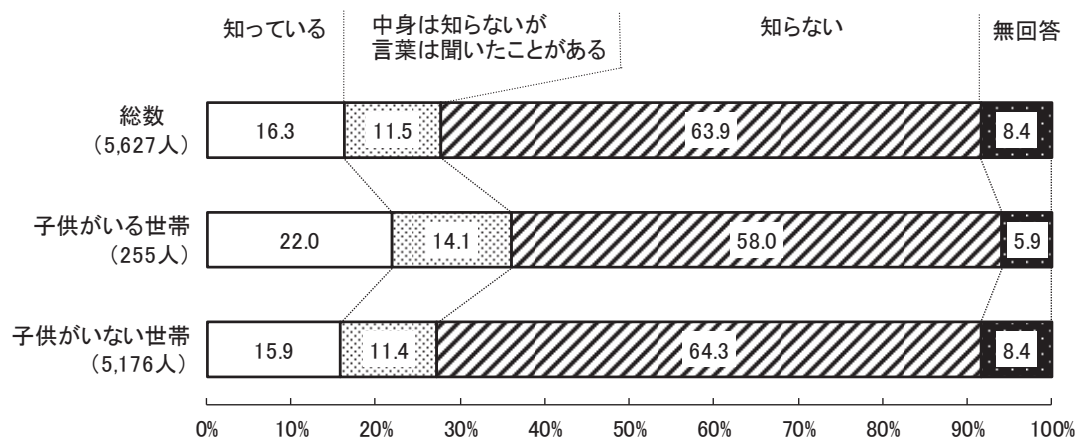
(21) 救急外来トリアージの認知度－世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別

救急外来トリアージを「知っている」割合は、3歳未満の子供がいる世帯に属する人では22.0%

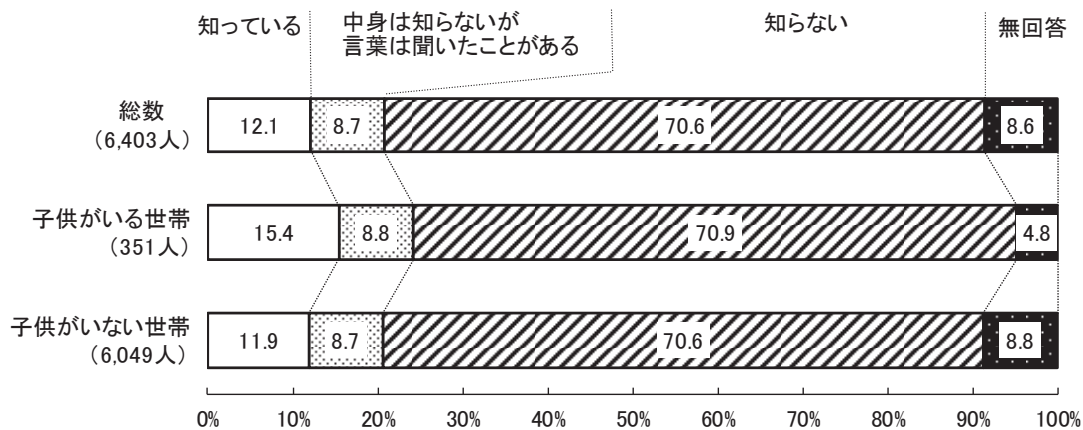
救急外来トリアージの認知度を、世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別にみると、「知っている」割合は、3歳未満の子供がいる世帯に属する人では22.0%、子供がいない世帯に属する人では15.9%となっている。（図Ⅱ-11-22）

図Ⅱ-11-22 救急外来トリアージの認知度－世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別

令和元年度



平成26年度



(22) 子供の健康相談室（小児救急相談）（#8000）の認知度－性・年齢階級別

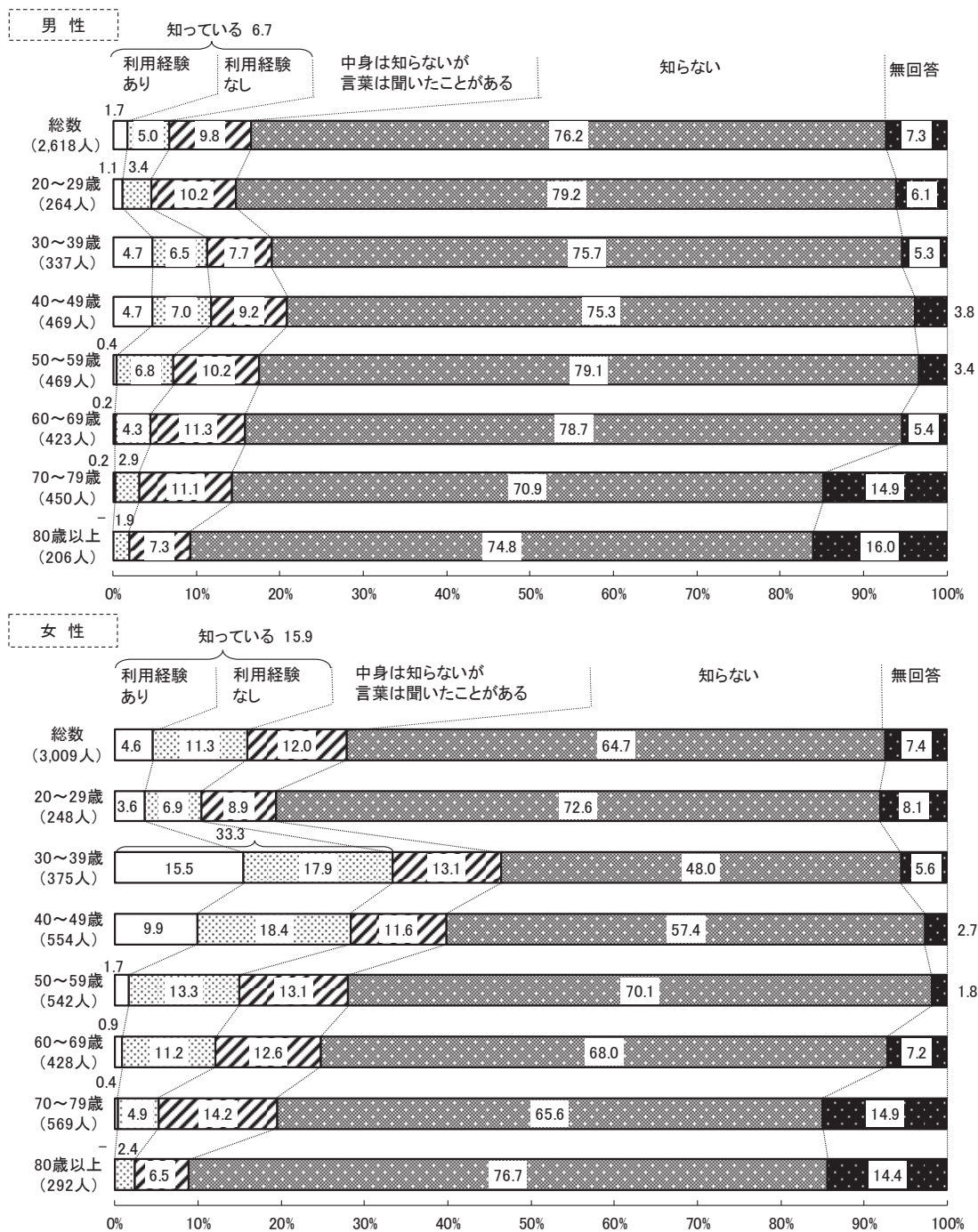
子供の健康相談室（小児救急相談）（#8000）を「知っている」割合は、30代女性では3割を超えている

子供の健康相談室（小児救急相談）（#8000）の認知度を性別でみると、「知っている」割合は、男性6.7%、女性15.9%となっている。

性・年齢階級別にみると、「知っている」割合は、30代女性では33.3%となっている。

「利用経験あり」の割合は、30代女性では15.5%となっている。（図Ⅱ-11-23）

図Ⅱ-11-23 子供の健康相談室（小児救急相談）（#8000）の認知度－性・年齢階級別



(注) 回答別比率を合算した比率 (33.3%) は、回答別人数を合算して求めているため、比率の内訳の合計とは一致しない。

(23) 子供の健康相談室（小児救急相談）（#8000）の認知度

－世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別

子供の健康相談室（小児救急相談）（#8000）を「知っている」割合は、3歳未満の子供がいる世帯に属する人では約5割

子供の健康相談室（小児救急相談）（#8000）の認知度を、世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別にみると、「知っている」割合は、3歳未満の子供がいる世帯に属する人では48.7%、子供がいない世帯に属する人では9.4%と、子供がいる世帯に属する人の方が39.3ポイント高くなっている。

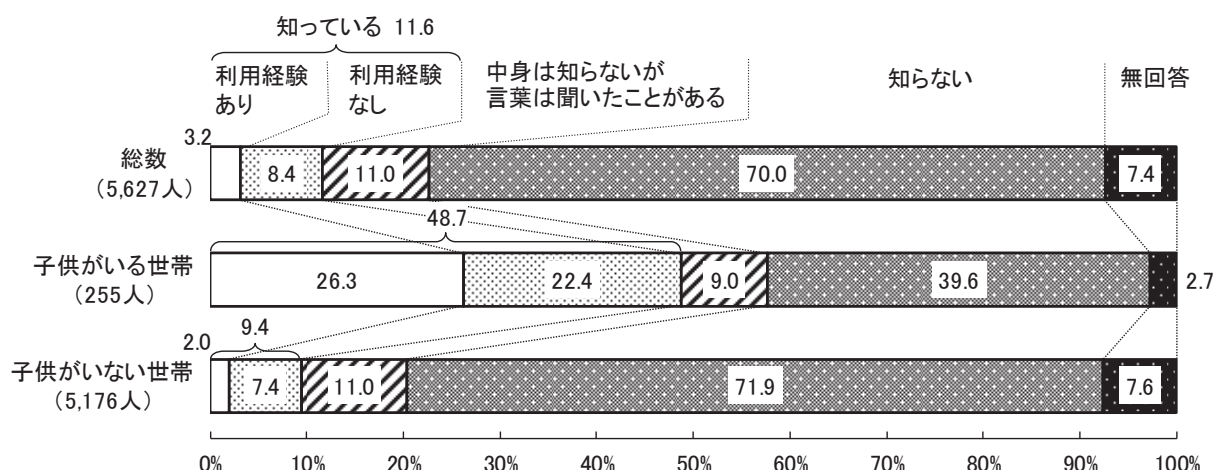
「利用経験あり」の割合は、3歳未満の子供がいる世帯に属する人では26.3%となっている。

平成26年度調査と比べて、3歳未満の子供がいる世帯に属する人の「知っている」割合が17.1ポイント増加している。（図Ⅱ-11-24）

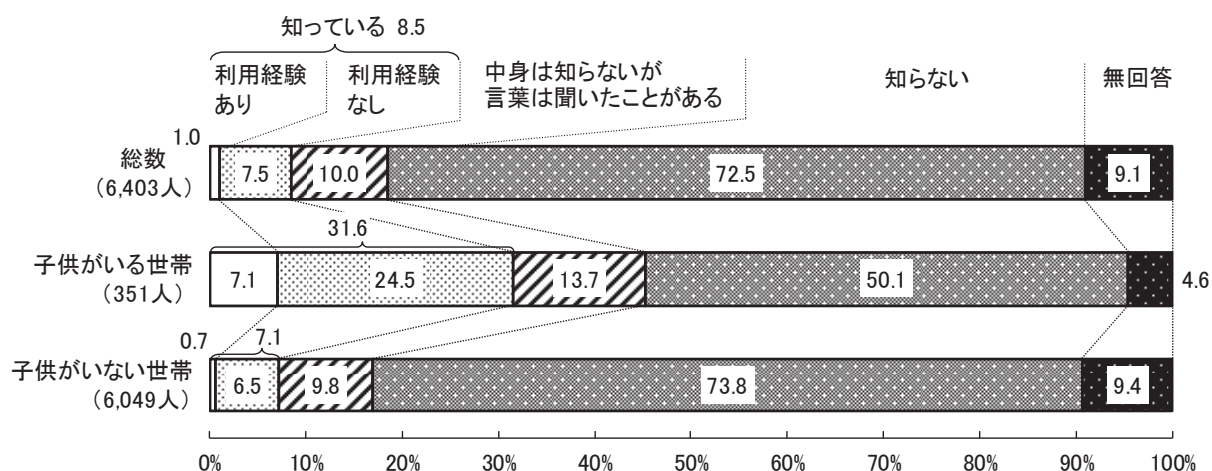
図Ⅱ-11-24 子供の健康相談室（小児救急相談）（#8000）の認知度

－世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別

令和元年度



平成26年度



(注) 回答別比率を合算した比率（7.1%）は、回答別人数を合算して求めているため、比率の内訳の合計とは一致しない。

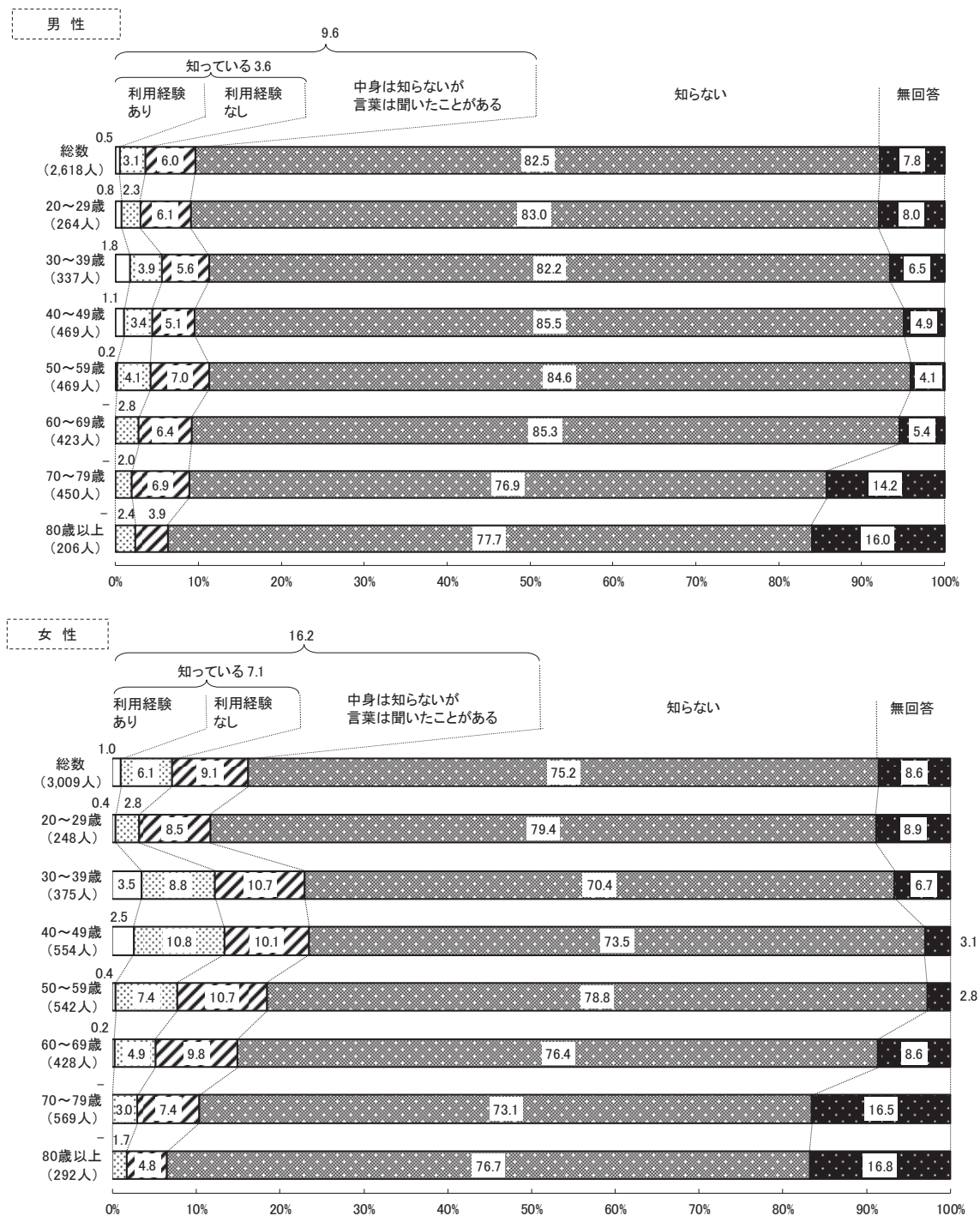


(24) 「東京都子ども医療ガイド」の認知度—性・年齢階級別

「東京都子ども医療ガイド」を「知っている」と「中身は知らないが言葉は聞いたことがある」を合わせた割合は、男性 9.6%、女性 16.2%

「東京都子ども医療ガイド」の認知度を性別で見ると、「知っている」と「中身は知らないが言葉は聞いたことがある」を合わせた割合は、男性 9.6%、女性 16.2%となっている。(図 II-11-25)

図 II-11-25 「東京都子ども医療ガイド」の認知度—性・年齢階級別



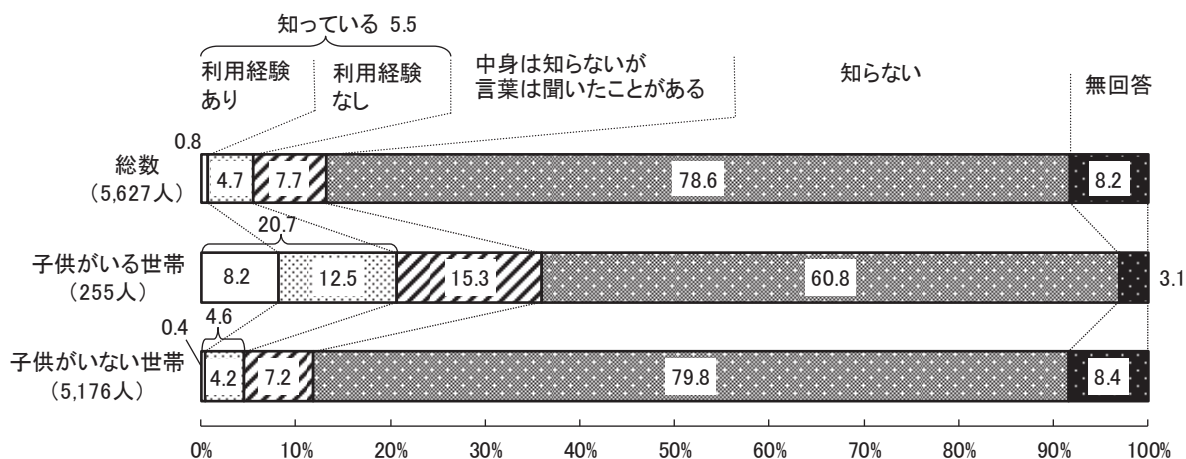
(25) 「東京都子ども医療ガイド」の認知度—世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別

「東京都子ども医療ガイド」を「知っている」割合は、3歳未満の子供がいる世帯に属する人では約2割

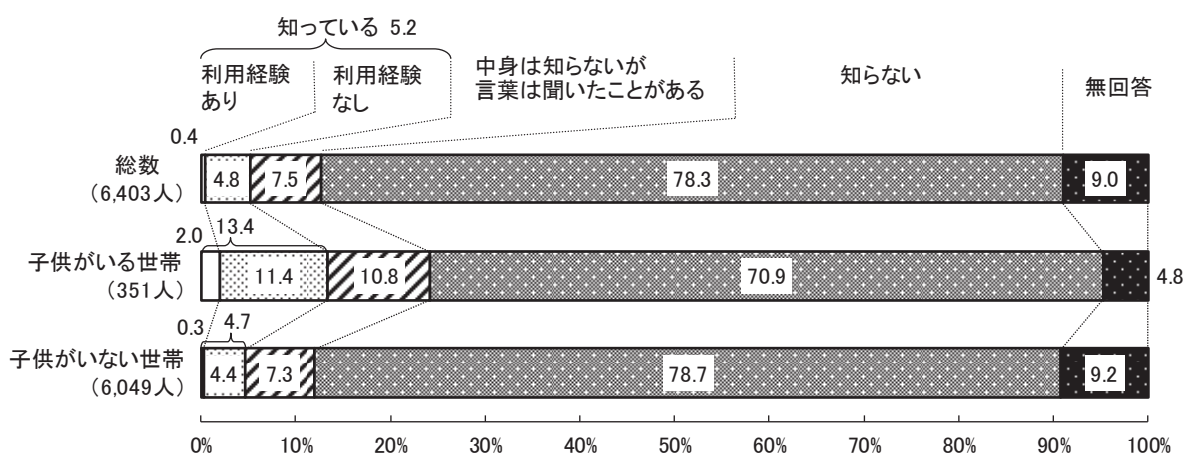
「東京都子ども医療ガイド」の認知度を、世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別にみると、「知っている」割合は、3歳未満の子供がいる世帯に属する人では20.7%、子供がいない世帯に属する人では4.6%と、子供がいる世帯に属する人の方が16.1ポイント高くなっている。  
 (図Ⅱ-11-26)

図Ⅱ-11-26 「東京都子ども医療ガイド」の認知度  
 —世帯類型（3歳未満の子供がいる世帯）別

令和元年度



平成26年度

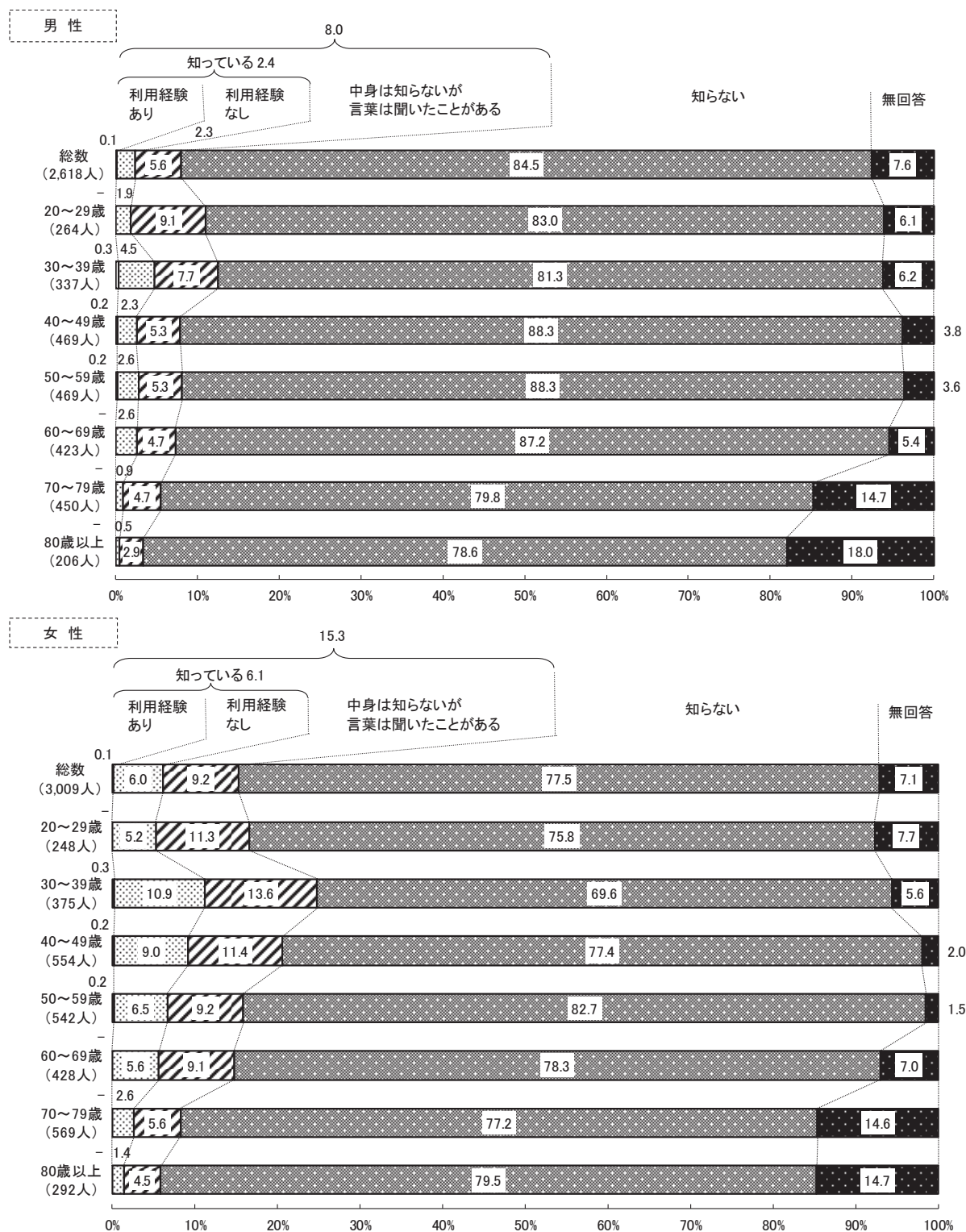


(26) 妊娠相談ほっとラインの認知度－性・年齢階級別

「妊娠相談ほっとライン」を「知っている」と「中身は知らないが言葉は聞いたことがある」を合わせた割合は、男性 8.0%、女性 15.3%

妊娠相談ほっとラインの認知度を性別でみると、「知っている」と「中身は知らないが言葉は聞いたことがある」を合わせた割合は、男性 8.0%、女性 15.3%となっている。(図Ⅱ-11-27)

図Ⅱ-11-27 妊娠相談ほっとラインの認知度－性・年齢階級別

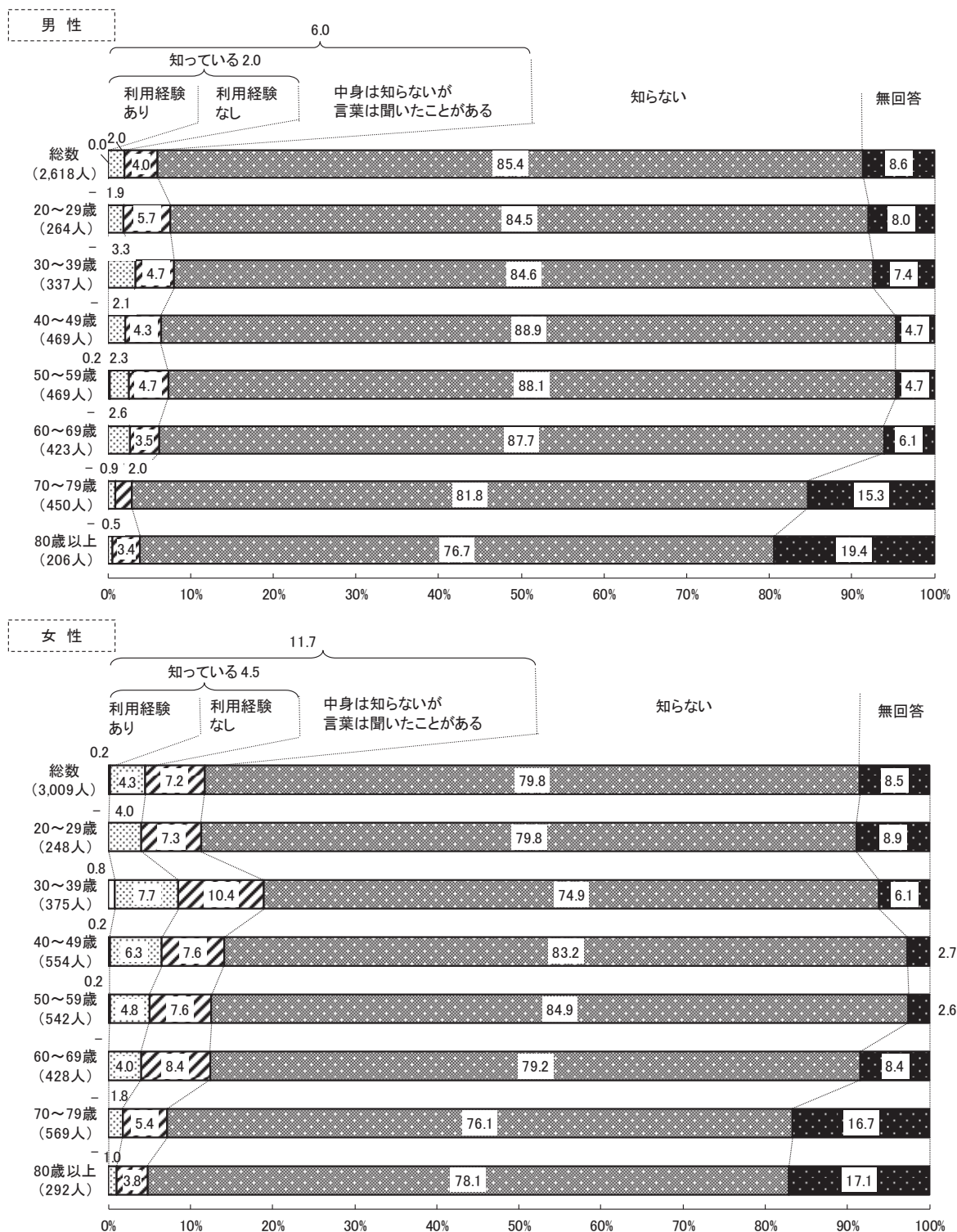


(27) 不妊・不育ホットラインの認知度—性・年齢階級別

「不妊・不育ホットライン」を「知っている」と「中身は知らないが言葉は聞いたことがある」を合わせた割合は、男性6.0%、女性11.7%

不妊・不育ホットラインの認知度を性別で見ると、「知っている」と「中身は知らないが言葉は聞いたことがある」を合わせた割合は、男性6.0%、女性11.7%となっている。(図Ⅱ-11-28)

図Ⅱ-11-28 不妊・不育ホットラインの認知度—性・年齢階級別



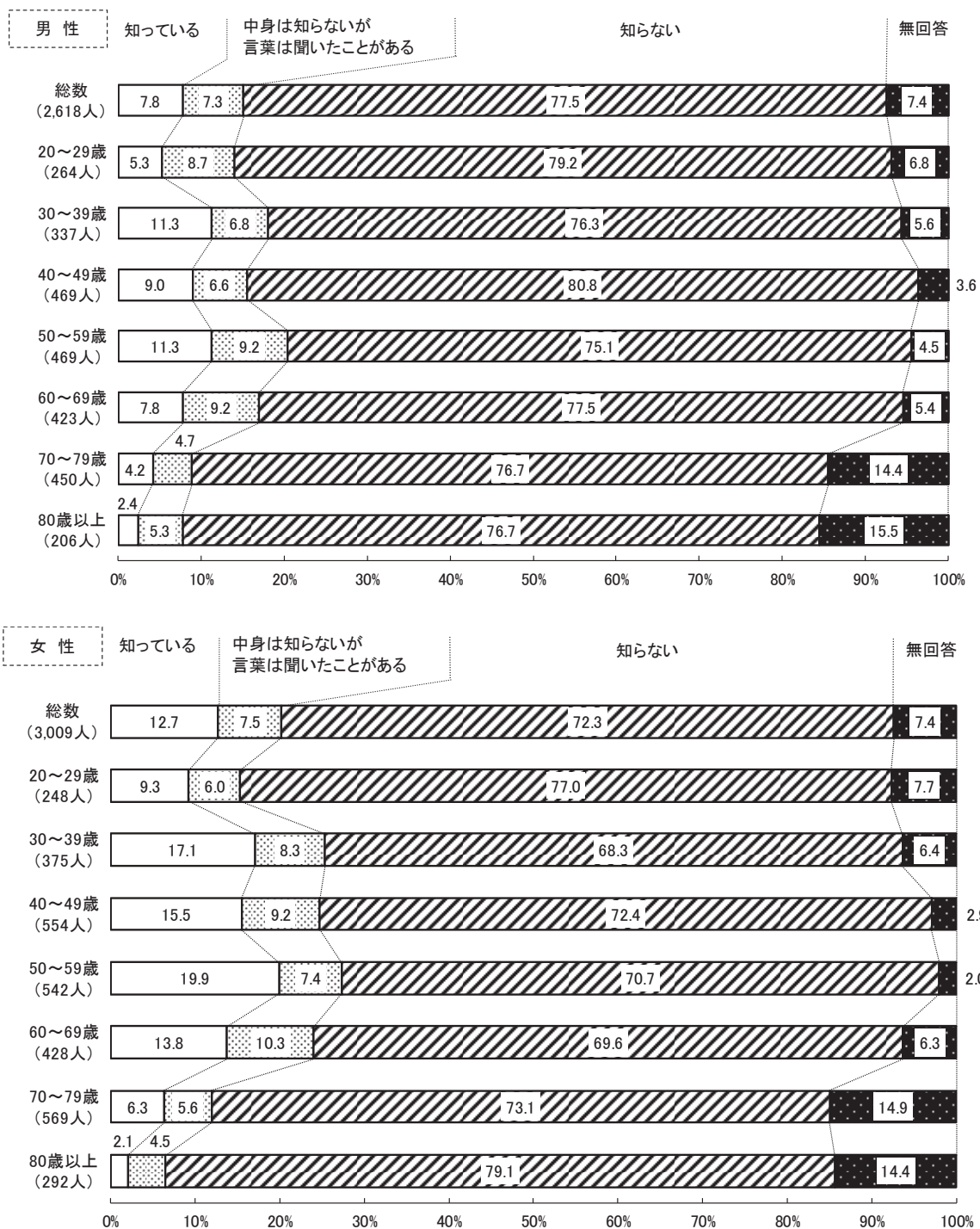
(28) COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度一性・年齢階級別

COPD（慢性閉塞性肺疾患）を「知っている」割合は、50代女性がでは約2割

COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度を性別でみると、「知っている」割合は、男性7.8%、女性12.7%となっている。

性・年齢階級別にみると、「知っている」割合は、50代女性では19.9%となっている。（図Ⅱ-11-29）

図Ⅱ-11-29 COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度一性・年齢階級別

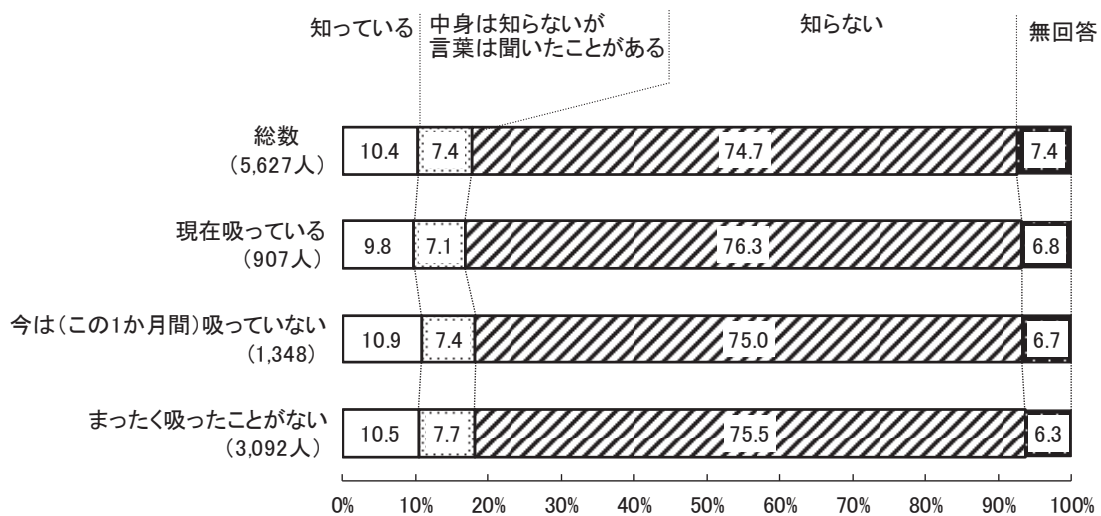


(29) COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度－喫煙経験の有無、喫煙経験者の現在の喫煙状況別

COPD（慢性閉塞性肺疾患）を「知っている」割合は、たばこを現在吸っている人では9.8%

COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度を喫煙経験の有無、喫煙経験者の現在の喫煙状況別にみると、「知っている」割合は、たばこを現在吸っている人では9.8%、今は（この1か月間）吸っていない人では10.9%、まったく吸ったことがない人では10.5%となっている。（図Ⅱ-11-30）

図Ⅱ-11-30 COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度  
－喫煙経験の有無、喫煙経験者の現在の喫煙状況別



(30) COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度－禁煙意欲別

COPD（慢性閉塞性肺疾患）を「知っている」割合は、たばこを「やめたいと思う」人では10.8%、「できればやめたいと思う」人では11.7%

COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度を禁煙意欲別にみると、「知っている」割合は、たばこを「やめたいと思う」人では10.8%、「できればやめたいと思う」人では11.7%となっている。（図Ⅱ-11-31）

図Ⅱ-11-31 COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度－禁煙意欲別

